

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 98 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加

再セットアップするには

他のOSを利用するには

トラブルを解決するには

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



●『活用ガイド ハードウェア編』

このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について



●『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの利用方法や再セットアップの方法について説明しています。

また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・再セットアップの方法
- ・他のOSを利用する場合の設定
- ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールされているアプリケーションや添付されているアプリケーションを、削除 / 追加する方法について説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法、再セットアップの方法についても説明しています。

トラブルが起こったときは、まず、巻末の「索引」にある「トラブル解決 Q&A内容一覧」を見て、自分のパソコンで起きたトラブルを探してください。トラブルの種類別に分類して、問題点を見つけやすくしています。トラブルの原因や解決方法をよく読んで対処してください。

1999年 5月 初版

対象機種

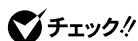
(Windows 98インストールモデル)

VersaPro NX : VA36D/WX、VA33D/WX、VA33D/WT、VA33D/WS、VA30H/WS、VA36D/AX、
VA30C/BS

808-875488-313-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMドライブ搭載
モデル

CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。

FAXモデム内蔵モデル

FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。

LAN内蔵モデル

LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

一太郎モデル

一太郎9、三四郎9、花子9、Sasukeがあらかじめインストールされているモデルのことです。

Wordモデル

Excel 97、Word 98、Outlook 98があらかじめインストールされているモデルのことです。

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→
「設定」→「コントロール
パネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 4.0 または Internet Explorer5 for Windows® 95, Windows® 98 & Windows NT® 4.0
一太郎9パック	一太郎9・花子9パック(一太郎9、三四郎9、花子9、ATOK12)
Excel 97、Word 98、 Outlook 98	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ for Windows® 95/98 Version 1.1.3J
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Acrobat Reader 3.0J	Adobe® Acrobat™ Reader 3.0J
スーパーディスク	SuperDisk™

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク ロゴ は参加各国の間で統一されています。

■ 電波障害自主規制について

LAN内蔵モデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

上記以外のモデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

[バッテリーバックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーバックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーバック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■ レーザ安全基準について

CD-ROMドライブ搭載モデルには、レーザに関する安全基準 (JIS-C-6802、IEC825) クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えます。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisync、モバイルメールを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件 および」ソフトウェア使用条件適用一覧 をお読みください。)
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎9・花子9バック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「一太郎9・花子9バック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9・花子9バック」にかかる著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDiskはImation社の商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。

RSA SecurPCおよびSecurityDynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

添付アプリケーションの削除と追加 1

添付アプリケーションの紹介 2

このPARTの構成について 3

アプリケーションの削除と追加 4

削除について 4

追加について 6

一太郎9パック(一太郎モデルのみ) 8

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98(Wordモデルのみ) 12

インターネットエクスプローラ 18

モバイルメール(VA30C/BSのみ) 20

Intellisync 23

NEC Soft MPEG1.0 29

プレーヤ-NX 32

Acrobat Reader 3.0J 35

CyberAccess 38

CyberAccessの機能 38

CyberWarner-NXの機能 43

VirusScan 47

英語モードフォントを利用する 51

DMIT00L(VA30C/BSを除く) 53

pcANYWHERE32 EX(VA30C/BSを除く) 57

RSA SecurPC 59

Masty Data Backup 62

再セットアップするには 65

再セットアップとは 66

こんなときは再セットアップが必要です 66

再セットアップの種類 66

再セットアップ時の注意 67

再セットアップの準備をする	68
1 必要なものをそろえる	68
2 ハードディスクのデータのバックアップをとる	69
3 パソコンの設定を控える	69
4 パソコン本体の準備をする	69
標準再セットアップ	72
カスタム再セットアップ	
~ 全領域を1パーティションにして再セットアップする	76
カスタム再セットアップ	
~ Cドライブのみを再セットアップする	78
カスタム再セットアップ	
~ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする	80
1 現在のハードディスク領域を削除する	80
2 ハードディスクに新しい領域を作成する	86
3 ドライブを初期化する	92
4 システムを再セットアップする	94
Windows 98の設定をする	96
Wordモデルの再セットアップ	98
一太郎モデルの再セットアップ	105
1. 一太郎9バックをセットアップする	105
2. ショートカットやATOKバレットを削除する	107
パソコンを使う準備	109
再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを初期化 (フォーマット)する	110
FAT32ファイルシステムの利用	112
FAT32を使用するときの注意	112
FAT32の設定方法	113

PART

3

他のOSを利用する	115
Windows NT 4.0を使う	116
Windows NT 4.0を使用する際の注意	116
1.Windows NT 4.0のセットアップ	118
2. 内蔵アクセラレータの利用	128

3. 内蔵サウンドの利用	129
4. NXパッドの拡張	130
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)...	131
6. FAXモデムカードの使用について	133
7. 内蔵PIAFSのセットアップ(VA30C/BSのみ)	138
8. スーパーディスクドライブのセットアップ(3モード対応にする場合)	139

トラブル解決 Q&A 143

トラブルを解決するには	144
コントロールパネルの開き方	148
はじめて電源を入れたら	150
電源を入れたが	154
バッテリーを使っていたら	164
電源を切ろうとしたが	166
画面がおかしい	168
別売のディスプレイを使っていたら	173
ファイル、フォルダがおかしい	178
音がおかしい	181
NXパッドを操作しても	184
文字を入力しようとしたら	186
ファイルを保存しようとしたら	190
インターネット/パソコン通信しようとしたら	192
FAXを使おうとしたら	202
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら	203
赤外線通信しようとしたら	205
印刷しようとしたら	206
フロッピーディスク、スーパーディスクを使っていたら	209
ハードディスクを使っていたら	213
CD-ROMを使っていたら	217

周辺機器を取り付けようとしたら	222
アプリケーションを使っていたら	227
スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら	233
休止状態(ハイパネーション)にしようとしたら	234
スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら	236
その他	238
 付録	 245
Windows 98でMS-DOSモードを利用する	246
MS-DOSモードを利用する	246
CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ)	247
新しいMS-DOS設定を指定する場合	248
コンピュータウイルス対策	251
アフターケアについて	254
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	257
ヘルプを利用する	259
ヘルプを表示する	259
調べたい項目を探す	260
 索引	 263
トラブル解決 Q&A内容一覧	264
総索引	270

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介

アプリケーションの削除と追加

一太郎9パック(一太郎モデルのみ)

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98(Wordモデルのみ)

インターネットエクスプローラ

モバイルメール(VA30C/BSのみ)

Intellisync

NEC Soft MPEG1.0

プレーヤ-NX

Acrobat Reader 3.0J

CyberAccess

VirusScan

英語モードフォントを利用する

DMIT00L(VA30C/BSを除く)

pcANYWHERE32 EX(VA30C/BSを除く)

RSA SecurPC

Masty Data Backup

添付アプリケーションの紹介

本機では、次のようなアプリケーションを使用することができます。

次のアプリケーションは、ハードディスクにあらかじめインストールされています。

1 一太郎モデルのみ

2 Wordモデルのみ

アプリケーション名	概要
一太郎9 ¹ Word 98 ²	ワープロを使う HTMLを作成する
三四郎9 ¹ Excel 97 ²	表計算をする
花子9 ¹ Draw 98 ²	図形を作成する
Sasuke ¹ Shuriken ¹ Outlook 98 ²	メール、スケジュール、文書などを管理する 電子メールを送受信する
インターネットエクスプローラ Outlook Express	インターネットの情報を管理する

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。

インストールの方法については、それぞれのアプリケーションの「追加」の項目をご覧ください。

3 VA30C/BSのみ

4 VA30C/BSを除く

アプリケーション名	概要
モバイルメール ³	電子メールを送受信する
Intellisync	赤外線/シリアルケーブル接続でファイルをシンク同期させる
NEC Soft MPEG1.0	MPEGファイルを再生する
プレーヤー-NX	オーディオCD、ビデオCDなどを再生する
Acrobat Reader 3.0J	PDFファイルを表示する
CyberAccess	操作可能なアプリケーションやツールを、ユーザのレベルに合わせて制限したり、OSが必要とするファイルを保護する
VirusScan	コンピュータウィルスを検出して除去する
英語モードフォント	海外製アプリケーションの文字表示を正しくする

DMIT00L ⁴	パソコンに接続されているハードウェアやインストールされているソフトウェアの情報を管理する
RSA SecurPC	ファイルのプライバシーを守る
pcANYWHERE32 EX ⁴	ネットワークに接続された遠隔地のパソコンを操作する
Masty Data Backup	さまざまな媒体のバックアップを行う

このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除のしかたについて、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

✓チェック!! ご購入時にプリインストールされていないアプリケーションを使うには、添付の「アプリケーションCD-ROM」からアプリケーションをインストールする必要があります。インストール方法については、それぞれのページの「追加」をお読みください。

ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✓チェック!!**
- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
 - ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブが必要になります。
 - ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
 - ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
 - ・一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
 - ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→p.5)を行ってから削除します。
 - ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2** 「インストールと削除」タブを選択する



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「インストールと削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。
- ・追加や削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合



チェック!!

- ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

プロダクトの選択

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「インストールと削除」タブを選択する
- 4** 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 5** 「次へ」をクリックする

- 6** 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムの
コマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」
と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
 Q: ¥NSETUP.EXE

- 7** 「完了」をクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

一太郎9パック（一太郎モデルのみ）

一太郎9パックには、「一太郎9」、「花子9」、「三四郎9」、「Sasuke」が入っています。「一太郎9」はワープロ、「花子9」は図形作成ソフト、「三四郎9」は表計算ソフトです。「Sasuke」は、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

また、メールソフト「Shuriken」を利用して、メールでスケジュールを通知することもできます。

本機にセットアップされている「一太郎9パック」は、「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、一太郎9パックの添付マニュアルの「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

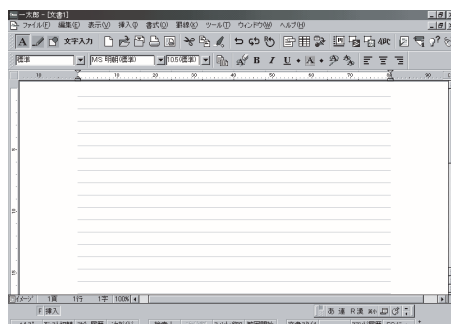
「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎9・花子9パック CD-ROM」から追加してください。

追加の方法については、一太郎9パックの添付マニュアルの「一太郎9・花子9パック」の「セットアップを行います」をご覧ください。

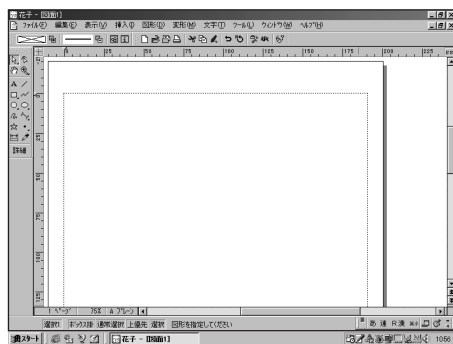
「一太郎9」「花子9」「三四郎9」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎9」「花子9」または「三四郎9」をクリックする
初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

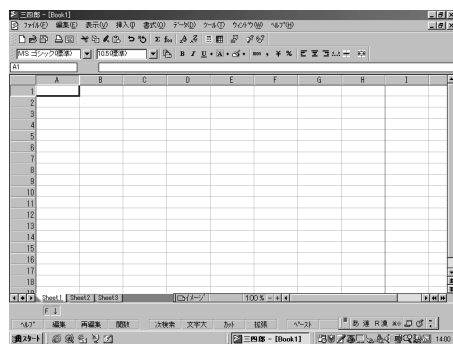
一太郎9



花子9



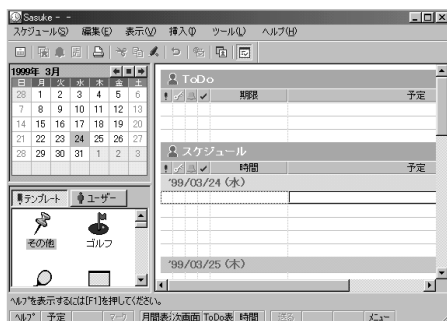
三四郎



Sasukeの起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEM インターネットツール」で「Sasuke」をクリックする

Sasuke



削除

一太郎9が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備 (→p.4)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「一太郎9・花子9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「一太郎9・花子9パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「一太郎9・花子9パックのファイルの追加・削除」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
アプリケーションや機能を選んで削除することもできます。
- 7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 12 「一太郎9・花子9パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」ボタンをクリックする
これで削除は完了です。

追加

一太郎9パックの追加については、PART2の「一太郎モデルの再セットアップ」(→p.105)をご覧ください。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98

(Wordモデルのみ)

Wordモデルには、次のソフトウェアがインストールされています。

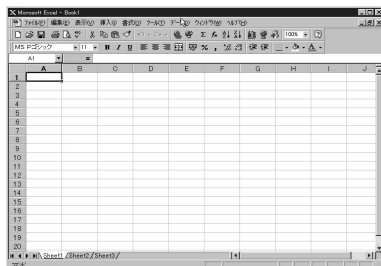
- ・ Excel 97(表計算ソフト)
- ・ Word 98(ワープロソフト)
- ・ Outlook 98(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・ Draw 98(作図ソフト)

本機にセットアップされている「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。

「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」の「標準セットアップ」以外の機能を使用する場合は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」に添付の「お使いになる前に」をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Excel」または「Microsoft Word」または「Microsoft Outlook」をクリックする
Excel 97



削除

チェック!! Draw 98、Word 98、Excel 97の削除には「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMが必要です。

チェック!! 削除の準備

「Word98」「Excel97」「Outlook98」を削除する場合は、CD-ROMドライブのドライブ番号が、「Word98」「Excel97」「Outlook98」を追加(インストール)したときと同じに設定されているようにしてください。

また、標準でインストールされている「Word98」「Excel97」「Outlook98」を削除する場合は、あらかじめCD-ROMドライブのドライブ番号がQドライブに設定されているようにしてください。Qドライブに設定されていない場合には、次の手順でQドライブに設定してください。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 2 「CD-ROM」の前の $\oplus$ をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックする
- 3 「設定」タブをクリックする
- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ」の $\square$ をクリックして表示された一覧の中から「Q:」を選ぶ



終了ドライブも自動的に変更されます。

5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面でも「OK」ボタンをクリックする

6 Windowsの再起動を促す画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックして本機を再起動する

Outlook 98の削除

✓チェック!! 再追加したOutlook 98、Word 98、Excel 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。
Excel 97、Word 98、Outlook 98の順に再追加したときは、Outlook 98、Word 98、Excel 97の順に削除します。

1 「削除の準備 (→p.4)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Outlook 98」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「メンテナンス ウィザード」が表示されたら「Outlook 98の削除」ボタンをクリックする

4 「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
Outlook 98の削除が始まります。

✓チェック!! 共有ファイルの削除メッセージが表示された場合は、「すべて残す」を選択してください。

5 アンインストール完了のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

✓チェック!! 再起動のメッセージが表示された場合は、再起動を選択してください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

Draw 98の削除

1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする

- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Draw 98のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Draw 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4 「Microsoft Draw 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」が表示された場合は「削除しない」をクリックしてください。
- 5 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了し、「Windowsの再起動」をクリックしてWindowsを再起動してください。

Word 98、Excel 97の削除

ここでは、Word 98の場合を例に説明しています。Excel 97を削除するときは、本文中の「Word 98」を「Excel 97」に置き換えてお読みください。

- 1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする。
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Word 98のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Word 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4 「Microsoft Word 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、「Windowsの再起動」をクリックしてください。

追加

Excel 97の追加

Excel 97の追加については、PART2の「Excel 97を再セットアップする」(→ p.98)をご覧ください。

Word 98の追加

Word 98の追加については、PART2の「Word 98を再セットアップする」(→ p.100)をご覧ください。

Draw 98の追加

Draw 98の追加については、PART2の「Draw 98を再セットアップする」(→ p.102)をご覧ください。

Outlook 98の追加

Outlook 98の追加については、PART2の「Outlook 98を再セットアップする」(→ p.103)をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

インターネット上でホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

- **チェック!!** ・ご購入時にはインターネットエクスプローラ4.0がインストールされています。インターネットエクスプローラ5を利用するには、「インターネットエクスプローラ5の追加」(→p.19)をご覧くださいになりセットアップを行ってください。
- ・インターネットエクスプローラ5をご使用の場合、インターネットエクスプローラ5は削除しないでください。削除すると、アプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。

起動

- 1** ・インターネットエクスプローラ4.0の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の
「Internet Explorer」をクリックする
・インターネットエクスプローラ5の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」をクリックする



(この画面は、インターネットエクスプローラ4.0の画面です)

- 1** デスクトップ上の「IE5のセットアップ」アイコンをダブルクリックする
デスクトップのアイコンを削除してしまった場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックし、エクスプローラのウィンドウで、C:\¥Windows¥Options¥Cabs¥IE5にあるie5setup.exeをクリックしてください。
- 2** 「使用許諾契約書」が表示されたら、よく読んでから「同意する」をチェックし「次へ」ボタンをクリックする
- 3** セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 4** 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

モバイルメール(VA30C/BSのみ)

モバイルメールは、パソコンを携帯して外出先で簡単に電子メールのやりとりができるアプリケーションです。利用環境の変化に応じて、あらかじめ設定しておいた通信設定を簡単に切り替えることができるほか、オフィスや自宅にあるもう一台のパソコン上のモバイルメールのメールアドレスと同期をとることができます。モバイルメールについては、本機に添付の『モバイルメール ファーストステップガイド』もあわせてご覧ください。



チェック!!

- ・モバイルメールは、ご購入時にはインストールされていません。モバイルメールを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は「追加」(→p.21)をご覧ください。
- ・モバイルメールの同期を行う場合は、同期を行う2台のパソコン上でIntellisyncの「ファイル転送」「シンクロナイズ」「接続設定マネージャ」を終了させてからモバイルメールを起動してください。
- ・モバイルメールは、Windows NT 4.0では利用できません。

モバイルメールでは、「モバイルメール」のほかにメールアドレスなどの個人情報登録できる「モバイルアドレス帳」。利用環境の変化に応じて設定を切り替えることにより、インターネットエクスプローラなどが使用するダイヤルアップネットワークと連動させることができる「通信設定」なども利用できます。

起動

モバイルメールの起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「モバイルメール」の「モバイルメール」をクリックする



追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.6)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「モバイルメール」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザーの情報」で、「名前」、「会社名」を全角13文字(半角26文字)で入力し、「次へ」ボタンをクリックする
名前は必ず入力してください。「会社名」を入力したくない(空白とした)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。
- 5 「登録確認」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 6 「コンポーネントの選択」でインストールするアプリケーションを選択する

- ✓ **チェック!!** ・モバイルメールをインストールせずにモバイルボイスメールをインストールした場合、モバイルボイスメールの「メール登録」機能は使用できません。
- ・「コンポーネントの選択」で、既にインストールされているアプリケーションは ☒ (オン) になり、インストールされていないものは ☐ (オフ) になります。ただし、はじめてインストールする場合は、すべてのアプリケーションが ☒ (オン) になります。アプリケーションを追加インストールする場合は、追加するアプリケーションを ☒ (オン) にしてください。なお、既にインストールされているアプリケーションは上書きインストールされます。

- 7 インストール先ディレクトリを指定して「次へ」ボタンをクリックする

- 8 「メールフォルダ選択」でメールフォルダを作成するドライブを選択して「OK」ボタンをクリックする

- ✓ **チェック!!** ・メールフォルダは、選択されたドライブのルートディレクトリに“MM Folder”というフォルダ名で作成されます。なお、フォルダ名を変更することはできません。
- ・既にメールフォルダが作成されている場合(追加インストール時など)そのドライブ名が表示されます。別のドライブを設定した場合、すでに作成されているメールフォルダは参照できなくなります。

9 「設定確認」と表示されたら設定内容を確認後「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

10 「デスクトップにショートカットを登録しますか」と表示されるので、ショートカットを登録する場合は「はい」ボタンを、登録しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
「コンポーネントの選択」ですべてのアプリケーションを選択した場合は、次のショートカットが登録されます。

- ・モバイルメール
- ・モバイルボイスメール
- ・モバイルアドレス帳
- ・モバイルポケベル
- ・通信設定

11 「Windowsの再起動」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
Windows 98が再起動します。

削除

1 「削除の準備（→p.4）の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「モバイルメール」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

4 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックする

5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
メールフォルダや通信設定、アドレスデータは削除されません。フォルダに残ったファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「<ドライブ名>:\¥MM Folder」にあるファイルを削除してください。

Intellicsync

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単にすることができます。



チェック!!

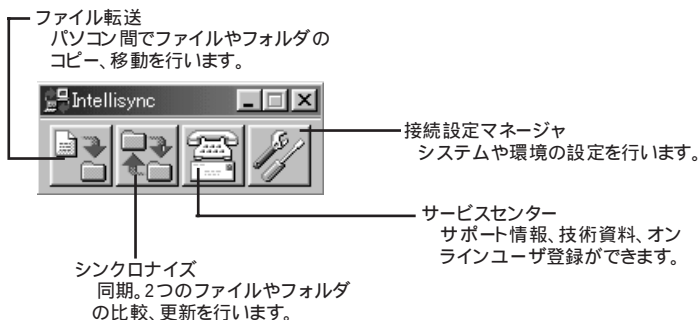
- ・ Intellicsyncは、ご購入時にはインストールされていません。Intellicsyncを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→p.27)をご覧ください。
- ・ 通信相手のパソコンとして、他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコンにIntellicsyncをインストールする必要があります。インストールの方法は「追加」(→p.27)をご覧ください。
- ・ 相手のパソコンにIntellicsyncをインストールする前に、本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellicsync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。
- ・ Intellicsyncに添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Reader 3.0Jが必要です。インストールの方法は、「Acrobat Reader 3.0J」(→p.35)をご覧ください。

Intellicsyncランチャーの起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellicsync」の「Intellicsync エージェント」をクリックする

2 「はじめに-Intellicsync」で「OK」ボタンをクリックする

「Intellicsyncランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 Intellisyncランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の  をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする
デバイスの詳細については、下記の「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に  が表示されていないときは、下記の「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧ください。
赤外線の設定を行ってください。
- 5 「プロパティ」をクリックする
- 6 「プロパティ」画面で「接続可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

赤外線 (IR) 接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート (IRポート) が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

- 3** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4** 「赤外線のデバイス」を右クリックする
- 5** 「IRウィザード」をクリックする
- 6** 現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 7** デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする
 本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、VA36D/AX、VA30C/BSをお使いの場合は「NEC FIR port model 01」を、それ以外の機種をお使いの場合は「NEC FIR port model 02」を選んでください。
- 8** 「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「Ir LPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11** 「接続設定マネージャ」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 12** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動する

シリアルケーブル接続設定

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1** COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
 ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

3 シリアルケーブルの左側のをクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

6 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

2 接続状態をチェックしたいデバイスの左側のをクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

追加

以下の操作を行う場合には、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行うまえに」を行ってください。

- 1 「プロダクトの選択」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Intellisync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。

 **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ方法」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップの完了」画面で、「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う場合は「赤外線 (IR) 接続設定」(→p.24)をご覧ください。シリアルケーブルによる通信を行う場合は「シリアルケーブル接続設定」(→p.25)をご覧ください。

- 1** 「削除の準備 (→p.4) の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「「Intellisync」とそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 5** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

NEC Soft MPEG1.0

メディアプレーヤー、プレーヤー-NXなどで、MPEG1のファイルやVideo CD ファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。MPEG ファイルとしては、拡張子が“.mpg”のもののほかに、ビデオCD内の拡張子が“.dat”のものを再生することができます。

- ✓チェック!!** NEC Soft MPEG1.0は、ご購入時にはインストールされていません。NEC Soft MPEG1.0を使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。
- インストールの方法は、「追加」(→p.30)をご覧ください。

起動

- ✓チェック!!** インターネットエクスプローラ5をインストールしている場合は、この手順でMPEGファイルを再生することはできません。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「メディアプレーヤー」をクリックする
- 2** 「デバイス」メニューから「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 3** 「開く」で再生したいMPEGファイルを選び、「開く」ボタンをクリックする
- 4** 「再生」ボタンをクリックする
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0についての注意

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータでは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置とが必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、コマ送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは、戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅くなる場合があります。

- ・メディアプレーヤー、プレーヤー-NXでプルダウンメニューを表示すると、再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同様に停止します。

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は、「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で行います。

- 1** 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 3** 「ハードウェアの追加」をダブルクリックし、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を起動する
- 4** 「次へ」ボタンを2度クリックする
- 5** 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」と表示されたら、「デバイスは一覧にはない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「プラグアンドプレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます」と表示されたら、「いいえ」を選択し「次へ」ボタンをクリックする
- 7** インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「ディスク使用」をクリックし、「ディスクからインストール」画面でコマンドラインに<CD-ROMドライブ名>:NECMPEGと入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 9** 「NEC Soft MPEG1.0」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

- 11** ファイルのコピー終了後に再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で行います。

■ NEC Soft MPEG1.0を削除するには、CD-ROMドライブが必要です。

- 1** メディアプレーヤーなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 3** 「マルチメディア」をダブルクリックする
- 4** 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブをクリックする
- 5** 「メディアコントロールデバイス」の左の田をクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。
- 6** 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 7** 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「ドライバは削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 9** 削除後に再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

チェック!! プレーヤ-NXは、ご購入時にはインストールされていません。プレーヤ-NXを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→p.33)をご覧ください。

プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリックする

音楽CDの場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



追加

- 1 「プロダクトの選択 (→p.6) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、
「OK」ボタンをクリックする
これでインストールは完了です。



- チェック!!** ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合は、NEC Soft MPEG1.0が必要です。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているときに、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをNXパッドなどのポインティングデバイスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
 - ・「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」→「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

- 1 「削除の準備 (→p.4)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして
「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
これで削除は完了です。

 **チェック!!** 「アプリケーションの削除と追加」で「プレーヤ-NX」を削除すると、音楽CDをセットしても「CDプレーヤー」は自動起動しません。音楽CDをセットして「CDプレーヤー」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」を再追加してください。

Acrobat Reader 3.0J

PDFファイル(拡張子が.PDFのファイル)を表示することができます。



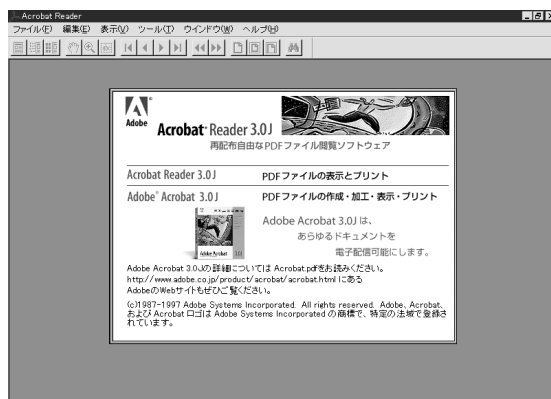
チェック!!

Acrobat Reader 3.0Jは、ご購入時にはインストールされていません。Acrobat Reader 3.0Jを使用する場合は、添付の「アプリケーション CD-ROM」を使ってインストールします。

インストールの方法は、「追加」(→ p.36)をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Adobe Acrobat」 → 「Acrobat Reader 3.0J」をクリックする



- 1 「プロダクトの選択 (→p.6) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Adobe Acrobat 3.0Jインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用許諾契約書」の内容を読み、内容に同意できる場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、Acrobat Reader 3.0JのREADMEを読む場合はそのまま「終了」ボタンを、読まない場合は「Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックを外してから、「終了」ボタンをクリックする
READMEファイルを読む場合は、読み終わったら右上のをクリックしてください。
- 8 「セットアップが終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
これでインストールは完了です。

- 1 「削除の準備 (→p.4) の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 削除が終了し、「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする



CyberAccess

コンピュータの利用環境を、ユーザのレベルや会社管理での必要性によって独自に設定することができます。

✓チェック!! CyberAccessは、ご購入時にはインストールされていません。CyberAccessを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストール方法は、「追加」(→ p. 41)をご覧ください。

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。

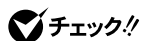
モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

- ・ **エキスパートモード** : CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- ・ **アドバンスモード** : コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
- ・ **ベーシックモード** : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・ **新規作成モード** : CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。



チェック!!

- ・CyberAccessをインストールした直後は「エキスパートモード」に設定されています。エキスパートモードでは、すべてのプログラムやアプリケーションへアクセスすることが可能です。
- ・ネットワークを利用したりリモート管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver1.0」が必要です。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess セットアップ」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。



- 2 「モード」タブをクリックし、「新規作成」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 3 「モード」欄に作成するモードの名前を入力する
- 4 機能を制限する場合は、「制限」タブをクリックし、制限する機能の□をチェックする
- 5 操作環境を制限する場合は、「単純化」タブをクリックし、操作環境を単純化する項目の□をチェックする
- 6 アプリケーションの使用を制限する場合は、「プログラム」タブをクリックし、「下記のプログラムのみ使用可能」の□をチェックする

7 「追加」をクリックし、使用を許可するアプリケーションをクリックする

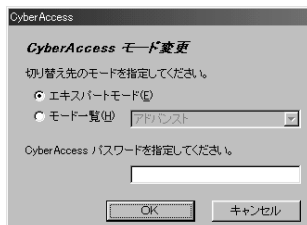
8 「全般」タブをクリックし、必要に応じてパスワードを設定する

9 「OK」ボタンをクリックする

モードの編集

作成したモードを編集します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わりします。

3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess セットアップ」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。

4 「モード」タブをクリックする

5 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。

6 「新規モードの作成 (→p.39)」の手順4～8と同様にして、各項目を変更する

7 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess モードの変更」をクリックする
- 2 「モード一覧」をクリックする
- 3 をクリックし、切り替えるモードをクリックする
- 4 「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→p.6) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「CyberWarner」でCyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをインストール」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする
CyberWarner-NXをインストールする場合は、「CyberWarnerをインストール」にチェックが入っているのを確認して「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「インストール先ディレクトリを選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「Cyber Access のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
「CyberWarner-NX」をインストールしない場合は、これで操作は完了です。「CyberWarner-NX」をインストールする場合は、続けて以下の操作を行ってください。
- 8 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

削除

- 1 「削除の準備 (→ p. 4) の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

CyberWarner -NXの機能

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。

-  **チェック!!** CyberWarner -NXで保護されているファイルを削除しようすると、ごみ箱の中身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする

-  **チェック!!** CyberWarner -NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないでください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

CyberWarner -NXを常駐させる

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

-  **チェック!!** 「CyberWarner -NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動時にCyberWarner -NXを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックしてください。

CyberWarner -NXの常駐を終了する

- 1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする

- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

追加

- 1 「CyberAccess」の「追加（→p.41）の手順1～11を行う

削除

 **チェック!!** 「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1 タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で、「はい」ボタンをクリックする
- 3 「削除の準備（→p.4）の手順1～2を行う
- 4 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

ログファイルについて

CyberWarner-NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作（移動、削除、修正、名前の変更）が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

 **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルの操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

・Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥system¥iosubsys¥*.mdp
¥io.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥himem.sys	¥windows¥rundll.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥progman.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥control.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.*	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥command.com	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥himem.sys	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥system¥sysedit.exe	

・Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
 ¥config.sys
 ¥msdos.sys
 ¥windows¥command¥*.exe
 ¥windows¥command¥*.com
 ¥windows¥command¥*.bin
 ¥windows¥command¥*.ini
 ¥windows¥command¥*.sys
 ¥windows¥system¥*.dll
 ¥windows¥system¥*.vxd

・Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

VirusScan

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

- チェック!!** VirusScanは、ご購入時にはインストールされていません。VirusScanを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→ p.48)をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする



VShieldを有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- チェック!!** VShieldの機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする
- 2 「VirusScan セントラル」が表示されたら、「VShield」をクリックする

3 「システムスキャンプロパティ」が表示されたら、「システムスキャンを有効」、「システムスキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」のチェックボックスにチェックを入れる

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「今すぐ読み込みを行いますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
これでVShieldの設定は完了です。次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。



チェック!!

- ・VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除する方法については、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。
- ・その他に「E-mailスキャン」、「ダウンロードスキャン」、「インターネットフィルター」の設定ができます。詳しくは、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

追加

1 「プロダクトの選択 (→p.6)の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動します。

3 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする

4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする

5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

8 「オプションの選択」で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする

「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」を起動して、「ツール」→「エマージェンシーディスク」をクリックして作成することができます。

なお、エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

10 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

11 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

12 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタン、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

13 「変更事項」画面で「次へ」ボタンをクリックする

14 インストールが終了すると「インストールが完了しました」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする

Windows 98が再起動します。

次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

 **チェック!!** VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除する方法については「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

削除

- 1** 「削除の準備 (→p.4) の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.2 プレインストール版」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 6** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7** 本機を再起動する

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 98アプリケーションを日本語版Windows 98で使用する場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。



チェック!!

英語モードフォントを使用する場合は、添付の「アプリケーション CD-ROM」を使ってインストールします。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ㇿ」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ㇿ」「®」→「ヨ」 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」「ヨ」→「®」 「¥」→「\」

追加 - 英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする

- 6** 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」をクリックする

 **チェック!!** 使用しているフォントが英語モードフォントのまま、日本語版 Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、「リ」「ヨ」「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

削除 - 日本語モードへの切り替え

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3** 「これらのフォントを削除してもよろしいですか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのまま、海外版 Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、著作権(©)や登録商標(®)、バックスラッシュ(\)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

DMIT00L(VA30C/BSを除く)

DMIT00Lは、パーソナルコンピュータに接続されているハードウェアの情報と、インストールされているソフトウェアの情報を管理するソフトです。

✓チェック!! DMIT00Lは、ご購入時にはインストールされていません。DMIT00Lを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→p.54)をご覧ください。

DMIT00Lは、管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。

DMIT00Lは、次の5つの機能で構成されています。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIFブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・WWW Extension

操作方法や表示画面については、添付のオンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

✓チェック!! 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、添付のオンラインヘルプをご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Dmi tool」の中から利用したい機能をクリックする
選択した機能の画面が表示されます。

システムビューア画面



追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「DMIT00L」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で、指示に従い「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「登録」の画面で、名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「起動モード」の画面で、起動モードを選択して「次へ」ボタンをクリックする
プログラムのインストールが開始されます。

✓チェック!! 通常は初期設定のままインストールしてください。「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMIT00L」で変更できます。「起動モード」については、インストールした後「ご使用になる前に」をご覧ください。

6 「情報」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

7 本機を再起動する

削除

DMIT00L WWW Extensionをセットアップしていない場合は、手順7からはじめてください

1 PWS("Personal Web Server")を停止する

2 「削除の準備 (→p.4)」の手順1～2を行う

3 「DMIT00L WWW Extension」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

4 DMIT00L WWW Extension常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

6 「ファイル削除の確認」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これでDMIT00L WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。

7 DMIT00L関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する

次のアプリケーションがDMIT00L関連のアプリケーションです。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・システムヘルス
- ・リモートビューア
- ・MIFブラウザ
- ・BIOSブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・休眠ファイル

- 8 「削除の準備」(→p.4)の手順1～2を行う
- 9 「DMIT00L」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 10 「DMIT00L削除」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 11 「ファイル削除の確認」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
プログラムの削除が開始されます。

 **チェック!!** 「いいえ」を選択し、削除を中断した場合は、システムを再起動してからDMIT00Lを使用してください。

- 12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 13 「コンピュータからプログラムを削除」の画面でアンインストール完了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 14 「リブート」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

pcANYWHERE32 EX(VA30C/BSを除く)

ネットワーク接続された他のパソコンに、本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!!

- ・pcANYWHERE32 EXは、ご購入時にはインストールされていません。pcANYWHERE32 EXを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」をご覧ください。
- ・本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使って、他のパソコンを操作することはできません。
- ・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE(Symantec 社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択(→p.6)」の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「pcANYWHERE32 EX」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「ユーザーの情報」で名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「オンライン使用許諾契約」で、契約内容をよくお読みになり、同意のうえ「はい」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHERE32をインストールします。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップレビュー」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認して「終了」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

削除

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」→「pcANYWHERE32 EXの削除」をクリックする
- 2 「ファイル削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合は、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

- 4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐ再ブートしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

RSA SecurPC

RSA SecurPCは、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

RSA SecurPCには、次のような特徴があります。

- ・RC4という暗号方式のアルゴリズムの方式を使用しています。
- ・マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- ・共有パスワードでファイルを暗号化し、ファイルを共有することができます。また、RSA SecurPCを持っていないユーザとファイルを共有することもできます。



チェック!!

RSA SecurPCは、ご購入時にはインストールされていません。RSA SecurPCを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。

インストールの方法は、「追加」(→p.60)をご覧ください。

起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

2 暗号化/復号化するファイル/フォルダを選択し、右クリックする

操作方法については、添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っている次のファイルをご覧ください。

¥SecurPC¥SecurPC.pdf



チェック!!

¥SecurPC¥SecurPC.pdfをご覧になるにはAcrobat Reader 3.0Jが必要です。本機にAcrobat Reader 3.0Jをインストールしていない場合は、「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。



参照

Acrobat Reader 3.0Jのインストール方法→「Acrobat Reader 3.0J」の「追加」(→p.36)

**チェック!!**

userpref.!!!ファイルのバックアップを保存するため、1.44Mバイトでフォーマットした空のフロッピーディスクが1枚必要です。あらかじめ準備しておいてください。

- 1** 「プロダクトの選択 (→p.6) の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「複写先を選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「RSA SecurPCへようこそ」で「OK」ボタンをクリックする
- 6** 「ランダム鍵の生成」で、「鍵生成達成率100%」になるまで適当なキー入力及びマウскарソルの移動操作を行い、「ランダム鍵生成が終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7** 「RSA SecurPC」で「ユーザー名」と「ユーザーパスワード」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックする
- 8** 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」と表示されたら、1.44Mでフォーマットされた空のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする
- 9** 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 10** 「RSA SecurPCのインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

- 1** 「削除の準備 (→p.4) の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「RSA SecurPCアンインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
Windows 98が再起動します。
- 5** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



Masty Data Backup

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、高機能バックアップツールです。

✓チェック!! Masty Data Backupは、ご購入時にはインストールされていません。Masty Data Backupを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」をご覧ください。

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- ・OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジュールリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」
→「Masty Data Backup 1.0」をクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→p.6)」の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「READMEファイルを読みますか?」と表示されるので、読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリックする
- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

削除

- 1 Masty Data Backupを終了する
タスクトレイに時計アイコンが存在する場合は、タスクトレイの時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーの「Masty Data Backup」を右クリックし「閉じる」を選択して終了してください。
- 2 「削除の準備 (→p.4) の手順1～2を行う
- 3 「インストールと削除」画面の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする



- チェック!!** ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

自動実行の登録

Masty Data Backupで自動実行を行うには、常駐プログラム「MastAut.exe」を「スタートアップ」グループに登録する必要があります。

次の手順で登録してください。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックする
- 2** 「タスクバーのプロパティ」で「[スタート]メニューの設定」タブをクリックする
- 3** 「追加」ボタンをクリックする
- 4** 「参照」ボタンをクリックし、Masty Data Backupがインストールされているフォルダ(通常は“ ¥Program Files¥MASTBK ”)の「MastAut.exe」ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックする
- 5** 「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「スタートアップ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
- 7** ショートカットの名前を変更する場合は、「名前の指定」画面で指定する
- 8** 「完了」ボタンをクリックする
- 9** 「タスクバーのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする

再セットアップするには

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクのファイルやフォルダはすべて消えてしまいます。大切なファイルは再セットアップの前にコピーしておいてください。

このPARTの内容

再セットアップとは

再セットアップの準備をする

標準再セットアップ

カスタム再セットアップ

～全領域を1パーティションにして再セットアップする

カスタム再セットアップ

～Cドライブのみを再セットアップする

カスタム再セットアップ

～ハードディスクの領域を設定して再セットアップする

Windows 98の設定をする

Wordモデルの再セットアップ

一太郎モデルの再セットアップ

パソコンを使う準備

再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを初期化(フォーマット)する

FAT32 ファイルシステムの利用



再セットアップとは

次のような症状が出てパソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- ・電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindows 98が起動しない
- ・ハードディスクのプログラムが正常に動作しない
- ・ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった
- ・Cドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい



チェック!!

- ・再セットアップを行うと、WindowsやBIOSセットアップメニューなどで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。
- ・再セットアップ前にスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードが設定されていた場合、それらの設定が引き続き有効になります。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態にあった方法を選んでください。

●標準再セットアップ

ハードディスクを、購入した時と同じ状態にする再セットアップ方法です。パソコン初心者の方や、システムを購入した時と同じ状態に戻したい方は、この方法を選んでください。

●カスタム再セットアップ

ハードディスクの領域を自由に変更して再セットアップすることができます。カスタム再セットアップには次の3つの方法があります。

- ・ハードディスクの全領域を1パーティションにして再セットアップする
Cドライブのハードディスクの容量を最大にすることができます。

- ・ Cドライブのみを再セットアップする
Cドライブの容量を変えずに、Cドライブのみを再セットアップすることができます。
- ・ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする
ハードディスクの領域を自由に変更して再セットアップすることができます。

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

再セットアップは途中でやめない

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。もし途中で作業を中断した場合は、最初から操作をやり直す必要があります。



再セットアップの準備をする

1 必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものがが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- ・本機に添付されている「バックアップCD-ROM」と「システムインストールディスク」フロッピーディスク

モデルによっては、添付されているフロッピーディスクの枚数が異なります。添付されているすべてのフロッピーディスクが必要です。

- ・本機に添付されている「Microsoft Windows 98ファーストステップガイド」
- ・本機に添付されている「Microsoft Excel 97&Word 98&Outlook 98」CD-ROM(Wordモデルのみ)
- ・本機に添付されている「一太郎9・花子9パック」CD-ROM(一太郎モデルのみ)
- ・フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ
フロッピーディスクドライブやスーパーディスクドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、フロッピーディスクドライブを接続しておいてください。
- ・CD-ROMドライブ
CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、別売のCD-ROMドライブと、そのCD-ROMドライブに添付されているドライバのフロッピーディスクをご用意ください。



チェック!

- ・「システムインストールディスク(起動用)」は、あらかじめ別の1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクにバックアップ(複製)をとり、これ以降の作業では複製の方を使用してください。元のディスクは大切に保管しておいてください。
- ・複製した「システムインストールディスク(起動用)」にはライトプロテクトをかけずに、書込み可能な状態にしておいてください。

このマニュアルでは、フロッピーディスクドライブを使用した場合の説明が記載されています。機器に標準搭載されているスーパーディスクドライブを使用する方は、「フロッピーディスクドライブ」の部分を「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。

2 ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内にご自分で保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてもいいように、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

3 パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定はすべて購入時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

控えておくもの

- ・インターネットのID
- ・インターネットのアドレス
- ・BIOSセットアップメニューの設定

など

4 パソコン本体の準備をする

次の各項目を確認して、準備を行ってください。

- ・パソコン本体の電源を切る
- ・CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す
- ・ACアダプタを接続しておく
- ・パソコン本体の設定(BIOSの設定)

パソコン本体の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)やハイバネーション状態になっている場合には一度データを保存し、電源を切ってください。

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す

再セットアップに必要なCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してください。

ACアダプタを接続しておく

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻す

次の手順に従ってパソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻してください。

- 1** 本機の電源を入れる
- 2** NECのロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3** VA36D/AX、VA30C/BSの場合は、「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押す
上記以外のモデルでは、キーボードの【F9】を押す
セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4** 「はい」を選び、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 5** キーボードの【F10】を押す
セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「はい」を選び、【Enter】を押す
これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

 **チェック!!** パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードやユーザパスワードは解除されません。

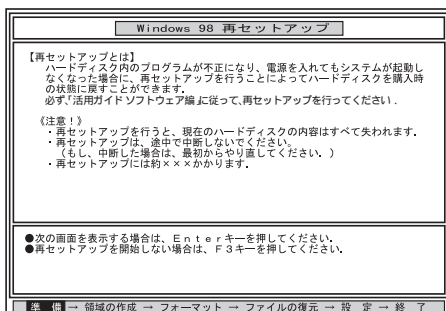
これで再セットアップの準備がすべて整いました

これ以降は、再セットアップの方法によって手順が異なります。

- 標準再セットアップ → 「標準再セットアップ」へ(p.72)
- カスタム再セットアップ
 - ・ 全領域を1パーティションにして再セットアップする場合
→ 「カスタム再セットアップ ~ 全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.76)
 - ・ Cドライブのみを再セットアップする場合
→ 「カスタム再セットアップ ~ Cドライブのみを再セットアップする」(p.78)
 - ・ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする場合
→ 「カスタム再セットアップ ~ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする」(p.80)

標準再セットアップ

- 1 本機の電源を入れる
- 2 NECのロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
次の画面が表示されます。



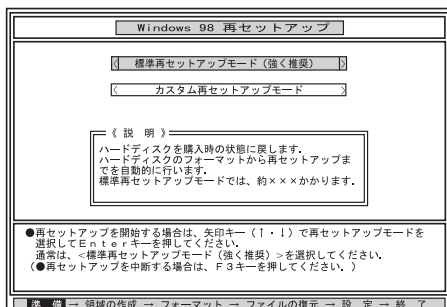
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。

- ✓**チェック!!** 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。
- また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 4 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す



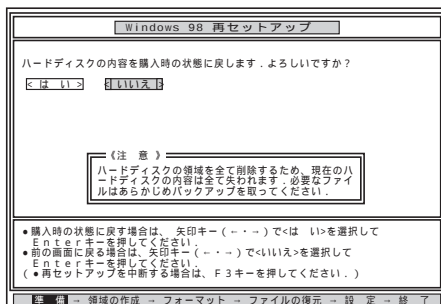
✓ **チェック!!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。

・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

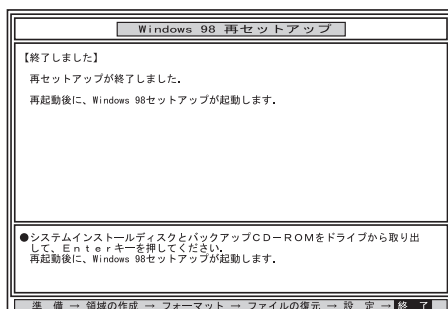
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されます。



7 「いいえ」が黄色になっているので、【←】を押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



✔ **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

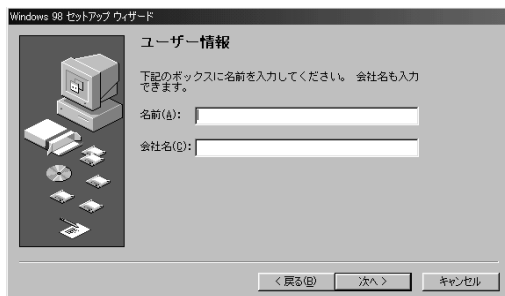
8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出す

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

✔ **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

10 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。



チェック!! 機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

このあと、p.96の「Windows 98の設定をする」に進んでください。



カスタム再セットアップ

～全領域を1パーティションにして再セットアップする

ハードディスクの全領域を1つのパーティションにして、再セットアップすることができます。

1 本機の電源を入れる

2 NECのロゴが表示されたらすぐに、「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。



チェック!!

別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。

また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【↓】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】を押す

カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、**【F3】**を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。

- 7** 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっているので、そのまま**【Enter】**を押し
「ハードディスクの領域を下記のように設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

- 8** **【←】**を1回押して、「はい」が黄色になったら**【Enter】**を押す(**【←】**を押し過ぎたときは、**【→】**を押して戻す)
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるようメッセージが表示されたら指示に従って入れ替えてください。

システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

 **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

- 9** フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出す

- 10** CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

 **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

- 11** **【Enter】**を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** 機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

このあと、p.96の「Windows 98の設定をする」に進んでください。



カスタム再セットアップ

～Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変えずに、Cドライブのみを再セットアップすることができます。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 NECのロゴが表示されたらすぐに、「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。

✓チェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライブをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。
また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 4 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 5 【Enter】を押す
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。
- 6 【↓】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】を押す
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。

7 【↓】を1回押して、「CDドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら【Enter】を押し【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す）「CDドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

8 【←】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押し【←】を押し過ぎたときは、【→】を押して戻す）ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるようメッセージが表示されたら指示に従って入れ替えてください。

システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

 **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク（起動用）」を取り出す

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

 **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

11 【Enter】を押し

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** 機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

このあと、p.96の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

カスタム再セットアップ

～ハードディスクの領域を設定して再セットアップする

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップすることができます。

ここでは、次のような手順で作業を行います。

- 1 現在のハードディスク領域を削除する
- 2 ハードディスクに新しい領域を作成する
- 3 ドライブを初期化する
- 4 システムを再セットアップする

1 現在のハードディスク領域を削除する

 **チェック!!** 領域を削除するときは、「論理MS-DOSドライブ → 拡張MS-DOS領域 → 基本MS-DOS領域」の順に削除してください。

 **用語** MS-DOS領域

Windowsが使用する領域のことを「MS-DOS領域」といいます。

 **用語** 基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。基本MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。

 **用語** 拡張MS-DOS領域

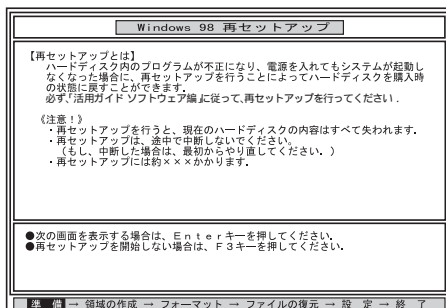
基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動することはできません。拡張MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

 **用語** 論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作成します。論理MS-DOSドライブは複数作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。

1 本機の電源を入れる

2 NECのロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。



チェック!!

別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライブをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

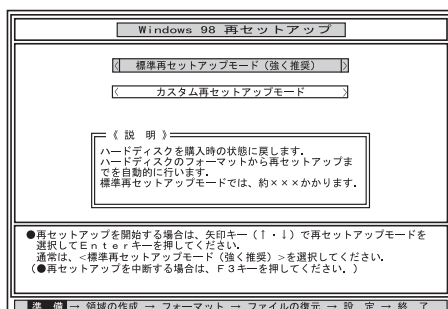
また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

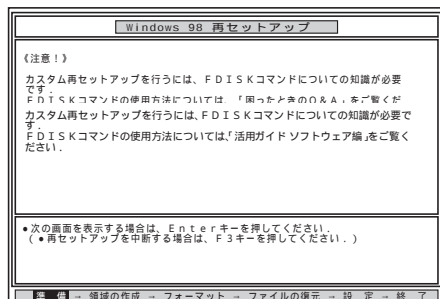
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

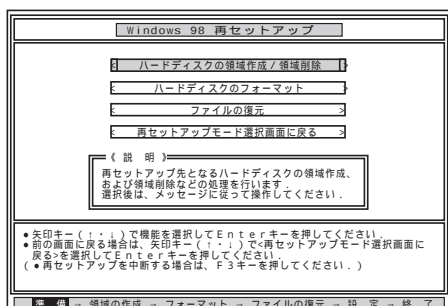


- 6 【↓】を1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】を押す
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

- 7 【↓】を2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら【Enter】を押す
(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す)
カスタム再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、
【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。



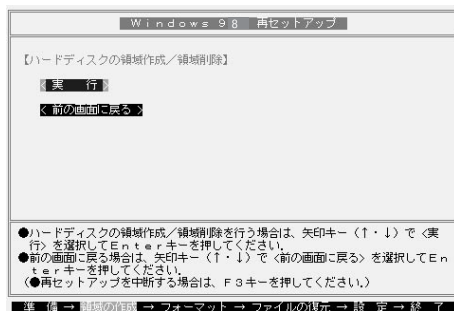
8 【Enter】を押す



9 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」画面が表示されます。



10 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「実行」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.85)へ進んでください。
論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、「論理MS-DOSドライブを削除する」(p.84)へ進んでください。

論理MS-DOSドライブを削除する

- 1** 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2** 【3】拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 3** 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は【D】を押す)、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4** ボリュームラベルの入力が必要なときは、入力して【Enter】を押す
入力する必要がないとき(削除する領域にボリュームラベルがつけられていないとき)は、そのまま【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5** 【Y】を押して【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6** 残りのドライブがあるときも、同様に3～5の手順ですべて削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されます。
- 7** 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。
- 8** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を削除します。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2 【2】拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。
- 3 【Y】を押して【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。
- 4 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2 【1】基本MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。
- 3 【1】を押して、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4 「WINDOWS98」と入力して(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合は何も入力せずそのままの状態)【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5 【Y】を押して【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。
- 6 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に「2. ハードディスクに新しい領域を作成する」に進んでください。

2 ハードディスクに新しい領域を作成する

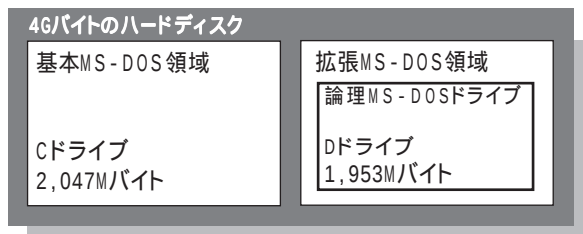
✓チェック!! 領域を作成するときは、「基本MS-DOS領域 → 拡張MS-DOS領域 → 論理MS-DOSドライブ」の順に作成してください。

本機では、次のようにして削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を分けます。

例：ハードディスクの容量が4Gバイトある場合

領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を2,047Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする。



領域の分け方の例(2)

4Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を1,500Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を1,500Mバイト、1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする。



✓チェック!! 確保される領域が、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。FAT16で領域確保するときに、「2,047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値を入力してください。

基本MS-DOS領域を作成する



チェック!!

カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域(Cドライブ)にWindows 98のシステムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して作成するときには、次の容量より大きくしてください。

1,420Mバイト + 本機に搭載されているメモリ容量

基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで作成手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・最大に割り当てる場合 → 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる
- ・最大に割り当てないでサイズを指定する → 基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる(p.88)

基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

- 1** 「FDISKオプション」の画面で、【1】MS-DOS領域または論理MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。
- 2** 【1】基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします Y/N)」と表示されます。
- 3** 【Y】になっているのを確認して、【Enter】を押す
「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されます。
- 4** 【Esc】を押す
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。

5 【Esc】を押す

「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、【→】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

6 【Enter】を押す

本機が再起動されます。

これで基本MS-DOS領域の作成が完了しました。p.92の「3.ドライブを初期化する」に進んでください。

基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる

- 1 「FDISKオプション」の画面で【1】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれかを選んでください」と表示されます。

- 2 【1】基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします Y/N)」と表示されます。

- 3 【N】を押して、【Enter】を押す
「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

- 4 必要な空き容量(→p.87)以上の数値を入力する

5 【Enter】を押す

- ・ 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32です」と表示されます。
【Esc】を押すと自動的にFAT32に設定されます。
- ・ 指定したサイズが2,047Mバイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
FAT16にする場合は【Y】を押して【Enter】押します。
FAT32にする場合は【N】を押して【Enter】押します。

 **チェック!!** FAT32にする場合は「FAT32を使用するときの注意」(→p.112)をご覧ください、内容をよく確認しておいてください。

「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。

6 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

7 【2】アクティブな領域を設定 を押し、【Enter】を押す

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

8 【1】を押して、【Enter】を押す

「領域1がアクティブになりました」と表示されます。

9 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を作成します。

拡張MS-DOS領域を作成する

- 1 【1】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
- 2 【2】拡張MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。
- 3 最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。
- 4 【Esc】を押す
「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

次に論理MS-DOSドライブを割り当てます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる

- 1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。
 - ・ 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32です」と表示されます。
【Esc】を押すと自動的にFAT32に設定されます。
 - ・ 指定したサイズが512Mバイト以上2,047Mバイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
FAT16にする場合は【Y】を押して【Enter】を押します。
FAT32にする場合は【N】を押して【Enter】を押します。
 - ・ 指定したサイズが33Mバイト以上511Mバイト以下の場合
「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
【N】を押して【Enter】を押します。
自動的にFAT16に設定されます。

- ・ 指定したサイズが32Mバイトの場合
「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されます。
【Esc】を押します。
自動的にFAT16に設定されます。

2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されるので、最大サイズで割り当てないときは、数値を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

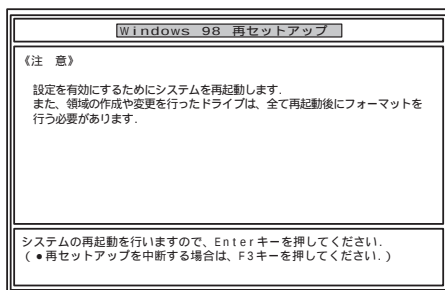
3 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てる
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

4 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

FDISKオプションの画面の「4. 領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

5 【Esc】を押す
「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

6 【Esc】を押す
「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



7 【Enter】を押す

本機が自動的に再起動します。

自動的に再起動しない場合は、電源スイッチを操作して電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。

機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示されることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。



チェック!!

別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

Windows 98 再セットアップの画面が表示されます。

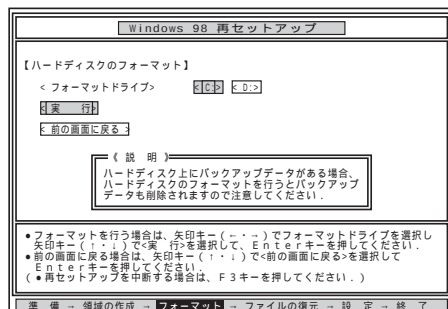
これで領域は作成されました。

次に「3.ドライブを初期化する」に進んでください。

3.ドライブを初期化する

新しく確保した領域を、次の手順で初期化(フォーマット)します。

- 1 【↓】を1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す)次の画面が表示されます。



- 2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】を押す(【→】を押し過ぎたときは、【←】を押して戻す)

「注意!ドライブC:のハードディスクのデータは全てなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。

3 【Y】を押して、【Enter】を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押します。必要がなければ、【Enter】だけを押す

ボリュームラベルは、半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。

「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

用語 ボリュームラベル

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます。

新しく領域を確保したドライブはすべて、手順1～4を繰り返して、フォーマットしてください。(手順2のドライブ名は、【→】を押して選んでください)

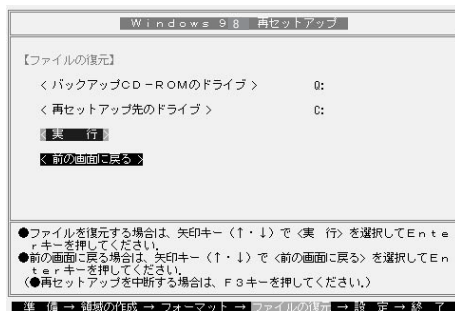
ドライブを5つ以上作成(6ドライブ以上作成した場合)、これ以降のドライブは手順1の画面には表示されず、ここではフォーマットできません。

「再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを初期化(フォーマット)する(→p.110)」でフォーマットします。

-  **チェック!!** ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

4. システムを再セットアップする

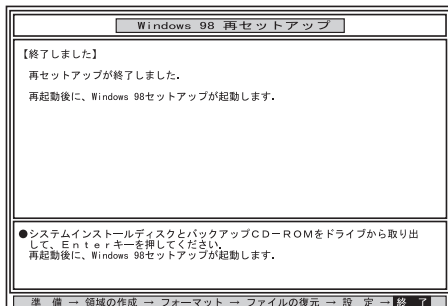
- 1 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】を数回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す)



- 2 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す
システムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

- ✓ **チェック!!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



3 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク（起動用）」を取り出す

4 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

 **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

5 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** 機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

このあと、p.96の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

Windows 98の設定をする

- 1 「ユーザー情報」のウィンドウで、キーボードを使ってこのパソコンを使う人の名前と会社名を入力する
名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。

- ✓ **チェック!!**
- ・ 名前を入力しないと、次の手順に進めません。会社名は入力しなくてもかまいません。
 - ・ ここで入力した名前、会社名は、また再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。

- 2 入力が終わったら「次へ」ボタンをクリックする

- 3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する

▼ スクロールボタン をクリックするか、キーボードの【PgDn】を押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。



- 4 「同意する」の○をクリックして●(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックする

- ✓ **チェック!!**
- 「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、もう一度最初から再セットアップし直してください。

- 5** キーボードを使ってプロダクト キーを半角文字で入力する
 プロダクト キーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



チェック!! 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように気をつけてください。表紙に記載されている「プロダクト キー」がわからないと、再セットアップできません。

- 6** 「次へ」ボタンをクリックする

- 7** 「すべての情報が保存されました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

自動的にWindows 98が再起動し、Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。

機種によっては再起動を促すメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックして、本機を再起動します。

- 8** 一度Windowsを終了し、もう一度電源を入れ直す

これ以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります

- ・ Wordモデル→p.98「Wordモデルの再セットアップ」へ
- ・ 一太郎モデル→p.105「一太郎モデルの再セットアップ」へ
- ・ 上記以外のモデル→これで再セットアップは終了です。p.109「パソコンを使う準備」へ進んでください。

Wordモデルの再セットアップ

Wordモデルでは、次の作業が必要です。

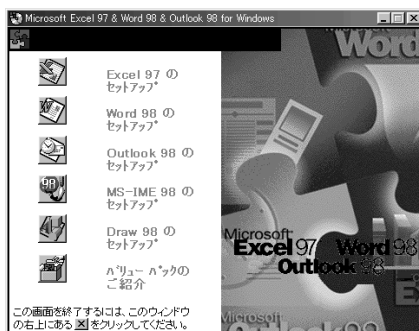
- Excel 97を再セットアップする
- Word 98を再セットアップする
- Draw 98を再セットアップする
- Outlook 98を再セットアップする

チェック!! 必ずExcel 97、Word 98、Draw 98、Outlook 98の順に再セットアップしてください。

Excel 97を再セットアップする

- 1 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的に、次の画面が表示されます。

自動的に表示されないときは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMのルートフォルダ内にある「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。



- 2 (Microsoft Excel 97のセットアップ) をクリックする
「Microsoft Excel 97のセットアップ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「継続」ボタンをクリックする
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください。

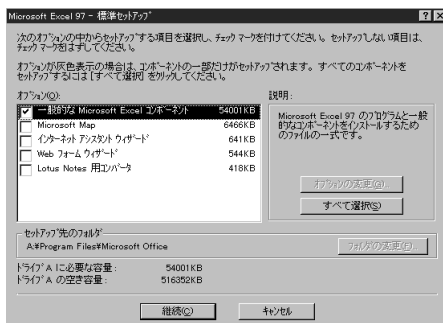
- 4 「OK」ボタンをクリックする
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックする
「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。Product IDは、「同意書 / オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

- 6 「OK」ボタンをクリックする
「Microsoft Excelを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

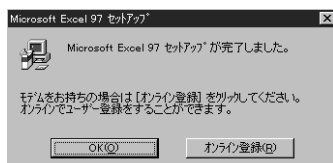
- 7 「OK」ボタンをクリックする
「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

- 8  (標準セットアップ) をクリックする



9 「継続」ボタンをクリックする

Excel 97のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



10 「OK」ボタンをクリックする

p.98の手順1の画面が表示されます。

Word 98を再セットアップする

✓チェック!! 次の手順1～6は、MS-IME98をバージョンアップするための作業です。システムを再セットアップしない場合はMS-IME98はバージョンアップ済なので、手順1～6を行わないでください。

1 (MS-IME98のセットアップ)をクリックする

「Microsoft IME 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください(Excel 97の再セットアップで「名前」や「所属」を変更したときは、その「名前」と「所属」が表示されます)。

3 「OK」ボタンをクリックする

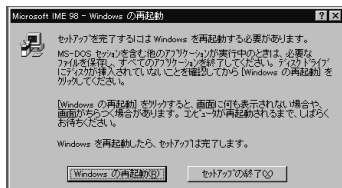
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft IME 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

5 (標準) をクリックする

MS-IME98のセットアップが始まります。「ユーザ辞書の変換は行いません。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



6 「Windowsの再起動」をクリックする

「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98」CD-ROMは、セットしたままにします。

Windowsの再起動後、最初に表示されたウィンドウが表示されないときは、「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98」CD-ROMをセットし直してください。

7 (Microsoft Word 98のセットアップ) をクリックする

「Microsoft Word 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

8 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください(Excel 97またはMS-IME 98の再セットアップで「名前」や「所属」を変更したときは、その「名前」と「所属」が表示されます)。

9 「OK」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

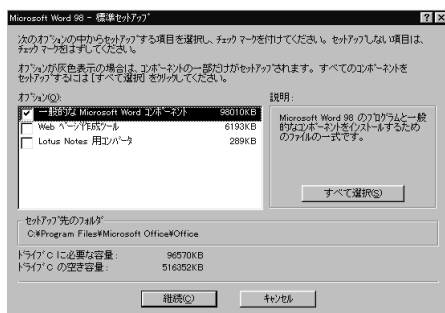
「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。プロダクトIDは、「同意書 / オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

11 「OK」ボタンをクリックする

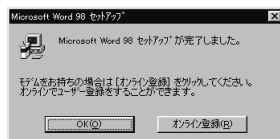
「Microsoft Wordを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

- 12** 「OK」ボタンをクリックする
「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

- 13**  (標準セットアップ) をクリックする



- 14** 「継続」ボタンをクリックする
Word 98のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



- 15** 「OK」ボタンをクリックする
p.98の手順1の画面が表示されます。

Draw 98を再セットアップする

- 1**  (Draw 98のセットアップ) をクリックする
「Microsoft Draw 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

- 2** 「継続」ボタンをクリックする
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください」と表示されます。

- 3**  (継続) をクリックする
Draw 98のセットアップが始まります。

- 4 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
p.98の手順1の画面が表示されます。

Outlook 98を再セットアップする

- 1  Outlook 98のセットアップをクリックする
「Outlook 98アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「次へ」ボタンをクリックする
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
- 3 「同意する」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
「登録」ウィンドウが表示されます。
- 4 ユーザー名などの必要情報を入力し、CDキーを正しく入力して
「次へ」ボタンをクリックする
「インストールオプション」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** CDキーは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMの袋の裏側に記載されています。

- 5 「標準インストール」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「電子メール アップグレード オプション」ウィンドウが表示されます。
- 6 「上記以外のメールプログラム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「電子メールサービスオプション」ウィンドウが表示されます。
- 7 「企業 / ワークグループ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストールフォルダ」ウィンドウが表示されます。
- 8 Outlook 98をインストールするフォルダが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
Outlook 98のセットアップが始まります。
「新しいコンポーネントをアップグレードしますか」というメッセージが表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

- 9** 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら
「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 10** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
する
- 11** Qドライブの「Q:¥Valupack¥Patch」にある「Outptch2」アイコン
をダブルクリックする
- 12** 「このパッチを実行する前に～」と表示されたら、Outlook 98が起
動していないことを確認して「はい」ボタンをクリックする
- 13** 「パッチのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボ
タンをクリックする
- 14** ウィンドウ右上の  をクリックして、エクスプローラのウィンド
ウを閉じる
- 15** CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す
- 16** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 17** 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

これで再セットアップは終了です。
このあと、p.109の「パソコンを使う準備」に進んでください。

一太郎モデルの再セットアップ

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、次の作業が必要です。

- ・一太郎9パックをセットアップする
- ・ショートカットやATOKパレットを削除する

1. 一太郎9パックをセットアップする

- 1** CD-ROMドライブに「一太郎9・花子9パックCD-ROM」をセットする
自動的に「AutoPlayプログラム」が起動します。
- 2** 「Welcome to Justsystem」で「一太郎9・花子9パックのセットアップ」をクリックする
- 3** 「一太郎9・花子9パックのセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする
- 4** 「使用許諾契約の確認」で「確認」ボタンをクリックする
「更新の確認」ウインドウが表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。
- 5** 「一太郎9・花子9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
「使用者名・法人名を登録します」と表示されます。
- 6** 必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする
「シリアルナンバー・User IDを登録します」と表示されます。
- 7** シリアルナンバーとUser IDを入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
「セットアップ方法を選択します」と表示されます。
- 9** 「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「標準モードでセットアップすると・・・」で「次へ」ボタンをクリックする

11 「サンプルファイルの選択」で「基本サンプルのみハードディスクで利用」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

12 「セットアップするフォルダを設定します」でセットアップ先のフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Cドライブの残り領域が少ない場合、セットアップするフォルダとして自動的に「D: ¥JUST」が選択されている場合があります。その場合は、そのままDドライブにインストールすることをお勧めします。

13 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする
一太郎9パックのインストールが始まります。

14 「インターネットヘダイヤルアップで接続しますか?」と表示されたら、「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする

15 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする

16 「一太郎9・花子9パックのセットアップ終了」と表示されたら「再起動」をクリックする
「一太郎9・花子9パック」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。

2. ショートカットやATOKパレットを削除する

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、一太郎9パックをインストールした後、さらに次の設定が必要です。必要に応じて、設定の変更を行ってください。

- ・デスクトップにある「Shuriken 2.0」および「花子フォトタッチミニ」のショートカットを削除する
- ・タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する
- ・ATOKパレットを非表示にする
- ・スタートアップに登録されているショートカットを削除する

デスクトップにあるショートカットを削除する

1 デスクトップの「Shuriken 2.0」のショートカットを右クリックする

2 表示されたメニューから「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」をクリックする

同様に「花子フォトタッチミニ」のショートカットを削除します。

タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する

1 タスクバー上の「一太郎9」アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューから「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする

同様に「花子9」、「花子フォトタッチミニ」、「三四郎9」、「Shuriken 2.0」、「Sasuke」アイコンを削除します。

ATOKパレットを非表示にする

1 ATOKパレットの「メニュー」ボタンをクリックする

2 表示されたメニューから、「プロパティ」をクリックする

3 ATOK12プロパティのダイアログで、「パレット」タブをクリックする

- 4** 「日本語入力-オフで表示」の項目を「しない」に変更し、「OK」ボタンをクリックする

スタートアップに登録されている、ショートカットを削除する

- 1** 「スタート」メニュー→「設定」→「タスクバーと「スタート」メニュー」をクリックする
- 2** 「タスクバーのプロパティ」で「「スタート」メニューの設定」タブをクリックする
- 3** 「削除」ボタンをクリックする
- 4** 「スタートアップ」をダブルクリックし、「JSクイックサーチファイル自動更新」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5** 「JSクイックランチ」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 6** 「Officeスタートバー」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 7** 「閉じる」をクリックする
- 8** 「タスクバーのプロパティ」で「OK」をクリックする

これで再セットアップは終了です。
このあと、p.109の「パソコンを使う準備」に進んでください。

パソコンを使う準備

再セットアップが終了したら、パソコンを使う準備をします。

- ・ 周辺機器を使用する場合は、機器をパソコン本体に接続する
- ・ インターネットの設定やパソコン本体の設定(BIOSの設定)をやり直す

再セットアップ前にスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードが設定されていた場合、それらの設定が引き続き有効になっています。再セットアップ後に設定し直す必要はありません。

BIGLOBEに加入している場合は、すでに取得しているIDやアドレスをそのまま使うことができます。

再セットアップ後にサインアップをやり直す必要はありません。

本機をご購入後にご自分でインストールして使用していたアプリケーションは、再度インストールし直す必要があります。

Cドライブのみの再セットアップを行った場合は、Dドライブ以降のドライブにアプリケーションが残っていてもアプリケーションは再度インストールが必要な場合があります。

アプリケーションが正しく動作しないときには、再セットアップ後にアプリケーションもインストールしなおしてください。



再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを初期化(フォーマット)する

ドライブを5つ以上作成(Gドライブ以上作成)した場合は、Gドライブ以降のドライブ(p.92の「3. ドライブを初期化する」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順で、フォーマットしてください。

- 1** 本機の電源を入れる
Windows 98が起動します。
- 2** デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3** フォーマットするドライブのアイコンを右クリックする
- 4** 表示されたメニューで「フォーマット」をクリックする
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 5** 「通常のフォーマット」をクリックする
- 6** 「開始」ボタンをクリックする
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 7** 「OK」ボタンをクリックする
しばらくするとフォーマットが終了します。
- 8** 「閉じる」ボタンをクリックする
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 9** 「OK」ボタンをクリックする
スキャンディスクのヘルプが表示されます。
- 10** 「フォーマット」の画面をクリックする
- 11** 「閉じる」ボタンをクリックする

- 12** ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったドライブが他にもある場合は、手順3～12を繰
り返してフォーマットしてください。

FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

 **用語** FAT(File Allocation Table)ファイルシステム

MS-DOSやWindowsで使用するディスク上で、どの場所にどのようなファイルがあるかを記録・管理するシステムのことです。

FAT16はMS-DOSや従来のWindowsで使われている基本的なファイルシステムで、FAT32はFAT16を拡張したファイルシステムです。

従来のFAT16では、2Gバイトの容量を超える領域を扱えませんがFAT32では理論上2Tバイト(2,047Gバイト)までの容量を扱うことができます。

 **参照** FAT32に関する情報 → 「Windows」フォルダのGENERAL.TXT

本機は、ご購入時の状態では次のようにハードディスクが領域確保されています。

Cドライブ 2Gバイト (FAT16ファイルシステム)

Dドライブ 残りの領域(FAT32ファイルシステム)

FAT32を使用するときの注意

FAT32を使用するときは、次の注意事項を確認してからご使用ください。

- ・ご使用になっている別売のソフトウェアによっては正しく動作しないことがあります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「アクセサリ」の「システムツール」にあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮することはできません。
- ・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98で使うことができます。
- ・FAT16に変更するには、カスタム再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISK」コマンドを使用して領域を作成します。「FDISK」コマンドは、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

本機では、ドライブコンバータ(FAT32)を利用して、FAT32に変換することもできます。ドライブコンバータ(FAT32)について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

参照 ヘルプを利用するには→PART5の「ヘルプを利用する」(p.259)

チェック!! ・本機はご購入時の状態では、DドライブがFAT32ファイルシステムで領域確保されています。
ここでDドライブをFAT32に設定する必要はありません。

・領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルは、領域を削除する前に必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

1 本機を起動し、「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」の画面が表示されます。

2 FDISKと入力し、【Enter】を押す
ハードディスクの容量が8,192Mバイト以下のときはFDISK /Xと入力し、【Enter】を押します。

チェック!! ハードディスクの容量、領域の情報は以下の手順で確認することができます。

1. 「MS-DOSプロンプト」の画面でFDISKと入力し、【Enter】を押す
2. 「大容量ディスクのサポートを可能にしますか(Y/N)」で「Y」を選択し、【Enter】を押す
3. 「FDISKオプション」で「4. 領域情報を表示」を選択する
表示された画面で、FAT32を適用しようとするハードディスクの容量を確認します。

ハードディスクが8,192Mバイト以下のときは、一度「FDISKオプション」を終了し、手順2でFDISK /Xと入力してください。

ハードディスクの容量が512Mバイト以上のときは、次のような大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

512 MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません。（Windows 98とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）。またFAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正しく動作しません。このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートは使用しないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)? [Y]

3 【Y】を押して【Enter】を押したあとに領域 512Mバイト以上の領域を作成する

ここで作成する領域にはFAT32が適用されます。

作成した領域のサイズが512Mバイトよりも小さいときは、自動的にFAT16が適用されます。

4 「FDISK」コマンドで領域を作成したあとに、Windows 98を再起動してドライブをフォーマットする 作成した領域が利用できるようになります。

P A R T

3

他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う

Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使うための注意事項やセットアップについて説明しています。

✓チェック! Windows NT 4.0の2000年問題対応について

Windows NT 4.0を使用する場合には、2000年問題対応が必要です。
NECのホームページ「98Information」(<http://www.nec.co.jp/98/>)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供していますので、Windows NT 4.0の2000年問題対応情報と修正プログラムを入手して適用してください。

参照 2000年問題 → PART4の「2000年問題について知りたい」(→ p.240)

Windows NT 4.0を使用する際の注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点に注意してください。

- ・Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・Windows NT 4.0では、モバイルメールをサポートしていません(VA30C/BSのみ)
- ・Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。
 - ・PCカードを使用中
 - ・ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・プリンタへ出力中
 - ・通信用アプリケーションを実行中
 - ・音声または動画を再生中
 - ・Windows NTのシャットダウン中

また、サスペンド / レジュームで問題が発生する場合は、BIOSセットアップメニューを次のように設定し、サスペンド / レジューム機能を無効にしてください。

- ・VA36D / AXの場合
「省電力セットアップ」を次のように設定してください。
 - システムスイッチ切り替え : パワーボタン
 - 省電力レベルの設定 : オフ
 - LCDパネル連動スリープ : 使用しない

- ・VA30C/BSの場合
- 「省電力セットアップ」を次のように設定してください。
- システムスイッチ切り替え : パワーボタン
- 省電力レベルの設定 : オフ



チェック!! VA30C/BSでは液晶ディスプレイを閉じると自動的にサスペンドモードになるため、電源を切ってから液晶ディスプレイを閉じてください。

- ・上記以外のモデルの場合
- 「省電力管理」を次のように設定してください。
- 省電力 : 使用しない
- 電源スイッチ : パワーオフ
- LCD連動スリープ : 使用しない

Windows NT 4.0のセットアップについて

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ
 - 1-1 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
 - 1-2 「アップデートディスク」の作成(VA30C/BSを除く)
 - 1-3 Windows NT 4.0をセットアップする
 - 1-4 ドライバをコピーする
 - 1-5 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 4の利用
 - 1-6 ドライバをアップデートする
2. 内蔵アクセラレータの利用
3. 内蔵サウンドの利用
4. NXパッドの拡張
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)
6. FAXモデムカードの使用について
 - 6-1 FAXモデムカードがWindowsNTで正しく認識されていることを確認する
 - 6-2 モデムのセットアップを行う
 - 6-3 モデムのセットアップ状況を確認する
7. 内蔵PIAFSのセットアップ(VA30C/BSのみ)
8. スーパーディスクドライブのセットアップ(3モード対応にする場合)

 **チェック!!** ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・ここでは、Windows 98がインストールされているドライブ:CDドライブ、フロッピーディスクドライブ:Aドライブ、CD-ROMドライブ:Eドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク2枚を用意し、ラベルに「システム修復ディスク」、「アップデートディスク」と記入しておいてください。
- ・セットアップの途中で「Service Pack4」をインストールする手順がありますので、以下のアドレスから「Service Pack4」を入手してください。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP4/default.htm>

1. Windows NT 4.0のセットアップ

1-1 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40 ディレクトリにWindowsNTの補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・「アプリケーションCD-ROM」でセットアップできるのは、本機に標準で添付されているソフトウェアのみです。
本機ご購入後にご自分でインストールしたアプリケーションは復元されません。
- ・ご自分で作成したデータは復元されません。また、変更した設定やデータはすべて消え、ご購入時の初期状態に戻ります。
- ・周辺機器の接続と設定が必要な場合は、システムのセットアップ後にもう一度行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft® Windows NT® Workstationファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・大切なデータはセットアップを行う前に必ずバックアップをとっておいてください。
- ・サスペンド状態ではセットアップできません。一度レジュームし、Windows NTを終了させてから本機の電源を切ってください。
- ・バッテリー駆動状態では、セットアップできません。必ず、ACアダプタを接続して行ってください。

- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・セットアップ中はスリープ状態にしないでください。
- ・セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。

スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)

スーパーディスクドライブでは、「Windows NT Workstation Setup Disk」(フロッピーディスク)を使用したセットアップは行えません。

スーパーディスクドライブ搭載モデルをご利用の場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc」(CD-ROM)だけを使ってWindows NTのセットアップを行う必要があります。

BIOSセットアップメニューを以下のように設定することによって、CD-ROMからWindows NTのセットアップができるようになります。

- 1** 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を押す
- 2** 「起動デバイスセットアップ」の「第一起動デバイス」で【PgUp】
【PgDn】を押して「CD-ROM」を選ぶ
この設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NTのセットアップ後は元に戻してください。
- 3** 【ESC】を押して「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す
- 4** 「はい」を選択し、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NTのセットアップがCD-ROMドライブから行えるようになります。

1-2 「アップデートディスク」の作成(VA30C/BSを除く)

- 1** 内蔵ハードディスクからWindowsを起動する
- 2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する

3 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、
「アップデートディスク」(あらかじめ用意しておいたフロッピー
ディスクのうち、「アップデートディスク」というラベルを貼ったも
の)をフロッピーディスクドライブにセットする

4 フロッピーディスクにファイルをコピーする
コマンドプロンプトから次のように入力すると、コピーが始まります。
E:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
CDNTUP A【Enter】

 **チェック!!** CDNTUPのあとに入力するフロッピーディスクドライブ名には、コロン(:)を付
けないでください。

以降は画面の指示に従って操作し、「アップデートディスク」を作成してくださ
い。

1-3 Windows NT 4.0をセットアップする

CD-ROMドライブ搭載モデルは、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧ください。
なり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

CD-ROMドライブが搭載されていないモデルでは、別売のCD-ROMドライ
ブやネットワークを利用してWindows 98のMS-DOSプロンプトからWINNT
コマンドで下記のようにセットアップを行います。

1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファ
イル(Windows NT CD-ROM Disc1のi386ディレクトリの下
のファイル)を、ネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

2 Windows 98を起動する
CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc1をセットし
ます。ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソー
スファイルをコピーしたドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力し、WINNTコマンドを実
行する
Q:【Enter】
CD ¥i386【Enter】
WINNT /B【Enter】

ここでは、CD-ROMドライブ名を「Q」、ディレクトリ名を「i386」として説明しています。実際と異なる場合は、読み替えてください。

4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップする

-  **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

ここでは、Windows NTのセットアップ手順について説明します。

より詳しい手順については、『Microsoft®WindowsNT®Workstationファーストステップガイド』、オンラインヘルプ、またはWindows NTの説明ファイルをご覧ください。

-  **チェック!!**
- ・スーパーディスクを使用してWindowsNT4.0をセットアップする場合は、必ず前述の「スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項（→p.119）」でBIOSの設定を変更してからセットアップを行ってください。
 - ・スーパーディスクをご利用の場合は、以降の説明中の「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」と読み替えてください。
 - ・スーパーディスクをご利用の場合は、手順2から操作してください。

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットする

2 CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする

3 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押す
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。

5 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す

6 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み、【F8】を押す
【PgDn】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

✓チェック!! 本機に他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認が表示されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

7 キーボードの種類で、「106日本語キーボード」を選択する

8 「106日本語キーボードでよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す

9 画面の指示に従って、セットアップを続行する

10 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

✓チェック!! ご購入時の状態に戻すには、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

11 画面の指示に従って、セットアップを続行する
ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されます。

12 ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を再起動する
テキストセットアップが終了し本機を再起動させると、グラフィックセットアップの画面が表示されます。

13 画面の指示に従って次の各設定を行う

- ・セットアップ方法
- ・個人情報の入力
- ・プロダクトIDの登録
- ・コンピュータ名の登録
- ・管理者アカウントのパスワードの登録
- ・システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合に備えて必ず選択してください)
- ・インストールするファイルの選択

- ✓チェック!!** 工場出荷時の状態に戻すには、セットアップ方法の選択画面で、必ず「カスタム」を選択してください。また、インストールするファイルの選択画面では、すべてのファイルにチェックを付けてください。

プロダクトIDは、添付の『Microsoft®Windows NT®Workstationファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

14 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

- ✓チェック!!** LANを内蔵していないモデルや、Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークをインストールする場合には、「まだネットワークに参加しない」を選び「次へ」ボタンをクリックしたあと、手順21へ進んでください。Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークをインストールする手順については、p.125をご覧ください。

15 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリックする

16 「ネットワークアダプタの選択」画面で「ディスク使用」ボタンをクリックする

17 「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されるので、「アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする

・VA36D/AXの場合

A: ¥DC21X4W

・VA36D/WX、VA33D/WX、VA33D/WT、VA33D/WS、VA30H/WSの場合

A: ¥DC21X4

18 「OEM オプションの選択」画面が表示されるので、リストから「Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mbps Ethernet Controller」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

19 ネットワークアダプタの検索画面に「Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mbps Ethernet Controller」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

20 ネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ネットワークプロトコルの選択
 - ・ネットワークサービスの選択
 - ・ネットワークの設定の確認
 - ・ネットワークに必要なファイルのコピー
 - ・Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mbps Ethernet Controllerの設定
 - ・ネットワークバインドの調整
 - ・ワークグループまたはドメインの参加
- ・TCP/IPプロトコルを使用する場合は、ここでTCP/IPプロトコルを組み込んでください。後からTCP/IPプロトコルを組み込む場合は、一度ネットワークの設定をすべて削除してからネットワークの設定をやり直してください。
- ・ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから「<CD-ROMドライブ名>:¥i386」と入力して、「続行」ボタンをクリックしてください。

これで、内蔵LANドライバを組み込む手順が終了しました。これ以降は画面の指示にしたがって設定を行ってください。

21 日付時刻の設定 / ディスプレイの設定を行う

画面の指示に従って、次の項目について設定してください。

- ・日付、時刻および時間帯の設定
 - ・ディスプレイの設定(確認のみ)
- 「検出されたディスプレイ」の画面が表示され、「vga互換ディスプレイアダプタ」が検出されます。

22 「OK」ボタンをクリックする

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

23 「OK」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが終了するまで待ちます。

24 手順13で「システム修復ディスクを作成する」を選択した場合、用意しておいたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして「はい」ボタンをクリックし、「システム修復ディスク」の作成を行う

25 「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスクドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出す

26 「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NTを再起動する

以上で、Windows NT本体のセットアップは終了しました。

 **チェック!!** スーパーディスクドライブをお使いの方は、必ず変更したBIOSの設定を元に戻してください。

ファイルシステムとしてNTFSを選択した場合は、最初のシステム起動でファイルシステムの変換を行い、その後自動起動します。

Windows NT 4.0のセットアップ後にネットワークをインストールするには

 **チェック!!** CD-ROMドライブを搭載していないモデルでWindows NT 4.0のセットアップ後にネットワークの設定を行う場合は、Windows NT 4.0上でCD-ROMドライブを使用できる環境が必要です。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
「Windows NTネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」というメッセージが表示されます。

2 「はい」ボタンをクリックする

3 「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

4 p.123～p.124の手順15～手順20の操作を行う

5 ネットワークのインストール前にサービスパックをインストールした場合には、ネットワークのインストール後に再度サービスパックをインストールする

1-4 ドライバをコピーする

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックする
- 2** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 3** 次のように入力する
E:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
DRVCOPY.BAT【Enter】
- 4** 画面の指示にしたがってコピーする

以上で、ドライバのコピーが終了しました。

1-5 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 4の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 4」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- 1** Service Pack 4の「README.TXT」を読む
- 2** Service Pack 4のインストールを行う

-  **チェック!!** ・ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。
- ・再起動を促すメッセージが表示されますが、「再起動」ボタンをクリックしないで「WindowsNT Service Packセットアップ」画面が表示されたままの状態です。ドライバのアップデートを行ってください。
- ドライバのアップデート後「再起動」ボタンをクリックし、本機を再起動してください。

- 3** 「1-6 ドライバをアップデートする (→ p.127) の手順でドライバをアップデートする

-  **チェック!!** 画面が見づらい場合は「WindowsNT Service Packセットアップ」画面をドラッグしてずらしてください。

- 4** 本機を再起動する
設定は、本機の再起動後に有効になります。

1-6 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

 **チェック!!** ドライバをアップデートする前に、Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 4」をインストールしてください。(なお、このマニュアルの手順どおりにセットアップを行っている場合や、すでにインストール済みの場合にはインストールは不要です。)

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

- 2** Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

カレントディレクトリがC:¥NT40のルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE【Enter】

- 3** VA36D/WX、VA33D/WX、VA33D/WT、VA33D/WS、VA30H/WSのみ、再度コマンドプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

カレントディレクトリがC:¥NT40のルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE2【Enter】

- 4** 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

-  **チェック!!** 再起動後に「Windows NT Service Packセットアップ」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。「CD-ROMからYear 2000 Service Packをインストールするには」が表示されますので、内容をご確認のうえインストールしてください。

2. 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3** 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4** 「変更」ボタンをクリックする
- 5** 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6** 次のディレクトリを指定して「OK」をクリックする
VA36D/AXの場合 C:¥NT40¥RageLT
上記以外のモデルの場合 C:¥NT40¥NMG4
- 7** 「ディスプレイ」リストボックスから、次のドライバを選ぶ
VA36D/AXの場合 ATI 3D RAGE LT PRO AGP
上記以外のモデルの場合 NeoMagic MagicGraph128 Family
- 8** 「OK」ボタンをクリックする
当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。
- 9** 「はい」ボタンをクリックする
ドライバ組み込みの結果が表示されます。
- 10** 「OK」ボタンをクリックする
- 11** 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップが終了しました。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でドライバのセットアップを行います。

・VA30C/BSの場合

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「C:\¥NT40¥Solo-1¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

3 「ESS Solo-1 AudioDrive Installation」の画面で、「Next」ボタンをクリックする

4 「ESS Solo-1 Installation」の画面で、「Install」を選び、「Next」ボタンをクリックする

5 「Choose Driver Language」の画面で、「More Languages」を選び、「Next」ボタンをクリックする
再度「Choose Driver Language」の画面が表示されます。

6 「Japanese」を選び、「Next」ボタンをクリックする

7 再起動を促すメッセージが表示されたら、「Finish」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

・上記以外の機種の場合

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3** ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 4** ドライバのインストール画面が表示されたら、ハードディスクドライブ名と次のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする
C:\¥NT40¥MAESTRO2
- 5** ドライバの一覧に次のドライバが選択されていることを確認してから「OK」ボタンをクリックする
ESS AudioDriver M2/M2E 4.02.**

4.02.**はバージョン番号です。**のところに表示される番号は、機種によって異なる場合があります。

- 6** 再起動に関するメッセージが表示されるので、「再起動する」ボタンをクリックする
Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。
次の手順でセットアップを行います。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「全般」タブをクリックする
- 3** 「変更」ボタンをクリックする

- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面が表示されたら、ハードディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(C:¥NT40¥SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 8 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする
- 9 再起動に関するメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)

次の手順でセットアップを行います。

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。その他のモデルをお使いの場合は、「8. スーパーディスクドライブのセットアップ(3モード対応にする場合)」(→ p.139)に進んでください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ
 - ・「COMポートの番号」：「5」を選択してください。
 - ・「I/Oポートアドレス」：他のデバイスと競合しない値を選んでください。
 - ・「割り込み番号(IRQ)」：『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャネル」の割り込みレベル一覧に記載されている値を設定してください。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「システム設定の変更」で「再起動しない」をクリックする
- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」をクリックする

C:¥NT40¥LTMODEM
- 11 次のようにドライバを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

VA30C/BSの場合	NEC FAX Modem 56K Data+FAX+Voice(¥ZUQC)
上記以外のモデルの場合	LT Win Modem
- 12 インストール先のポートの選択を促すメッセージが表示されたら、「選択したポート」をチェックする

13 「COM5」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

14 「所在地情報」を設定して「次へ」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「所在地情報」画面は、1回目のモデムセットアップ時にのみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは「所在地情報」画面が表示されないことがあります。

15 「完了」ボタンをクリックする

16 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

17 本機を再起動する

6. FAXモデムカードの使用について

FAXモデムカードを使用する場合には、次の手順で設定してください。

 **チェック!!** CardWizard for WindowsNTをセットアップした場合には、この設定は必要ありません。

6-1 FAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されていることを確認する

1 PCカードスロットにFAXモデムカードを入れる

2 Windows NTを起動する

3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

4 「PCカード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックする

5 「ソケットの状態」タブをクリックする

6 目的のFAXモデムカードをポイントする

 **チェック!!** 目的のFAXモデムカードの名前が表示されない場合は、PCカードが正しく挿入されていない可能性があります。『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「PCカードのセットのしかたと取り出し方」をご覧ください。

7 「プロパティ」ボタンをクリックする

8 「カード情報」タブをクリックする

FAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されている場合には、「デバイスマップ」の画面が表示され、使用するFAXモデムカードのCOM番号が表示されます。

このCOM番号はモデムのセットアップ(→p.134)やリソース(IRQ)の変更(→p.136)の操作でも使用しますので、覚えておいてください。

✓チェック!! 「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカードのリソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)」を変更する(→p.136)をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してください。

6-2 モデムのセットアップを行う

FAXモデムカードをダイヤルアップネットワーク等で使用する場合には、モデムのセットアップが必要です。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

2 「モデム」アイコンをダブルクリックする

初めてモデムをセットアップする場合には、自動的に「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

既にモデムがセットアップされている場合には、「モデムのプロパティ」が表示されます。「追加」ボタンをクリックすると「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

自動的にモデムが検出され、使用するFAXモデムカードのCOM番号の部分に「標準モデム」と表示されます。

✓チェック!! モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカードに割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)」を変更する(→p.136)をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してからモデムをセットアップしてください。

4 使用するFAXモデムカードにWindows NT用の.infファイルが添付されている場合は、.infファイルをインストールする

.infファイルの入ったフロッピーディスクを本機のフロッピーディスクドライブに入れる

「変更」ボタンをクリックする

「ディスク使用」ボタンをクリックする

コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力し、「OK」ボタンをクリックする

使用するFAXモデムカードの名称をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

使用するFAXモデムカードのCOM番号上のモデム名が変更されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

「完了」ボタンをクリックする

参照 Windows NT用の.infファイルがない場合には、Windows 98用の.infファイルで代用できることもあります。ただし、Windows 98用の.infファイルすべてがWindows NTで正しく動作するわけではありません。
上記の手順のあとに進むか、またはFAXモデムカードの通信速度に合った「(標準のモデム ドライバ)」に変更してください。

6-3 モデムのセットアップ状況を確認する

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「ハイパーターミナル」→「ハイパーターミナル」をクリックする
「新しい接続」ウィザードが表示されます。
- 2** 「キャンセル」ボタンをクリックする
- 3** 「ファイル」メニュー→「プロパティ」をクリックする
「接続の設定」タブの画面が表示されます。
- 4** 「接続方法」リストから使用するモデム名をクリックする
- 5** 「モデムの設定」ボタンをクリックする
- 6** 「ポート」に正しいCOM番号が表示されているか確認し、よければ「OK」ボタンをクリックする

7 「OK」ボタンをクリックする

8 ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力する 「AT」と表示されます。

9 【Enter】を押す

モデムのセットアップが正しく行われている場合には、「OK」のメッセージが表示されます。

ハイパーターミナルのウィンドウに「AT」と表示されず、「OK」のメッセージも表示されない場合は、Windows NTでFAXモデムカードが認識されていないか、モデムのセットアップが正常に終了していない可能性があります。
p.134～p.136をご覧ください。FAXモデムカードが正しくセットアップされているか確認してください。

FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する

FAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されなかったり、正しく動作しない場合は、リソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。その場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変更してください。

1 本機で利用可能なリソース(IRQ)を確認する

参照

本機で利用可能なリソース→『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャネル」

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール」→「WindowsNT 診断プログラム」をクリックする

3 「リソース」タブをクリックする

現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、空いているリソース(IRQ)を確認してください。

WindowsNTでは、FAXモデムカードは本機内蔵のシリアルポートと同じ「Serial」というデバイス名で表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内蔵のシリアルポート、IRQ4以外の「Serial」がFAXモデムカードを表しています。

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

5 「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする

✓チェック!! 「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」でデバイスマップが「利用不可」と表示されている場合は、ここでポートを追加する必要があります。次の手順でCOMポートを追加してください。

「追加」ボタンをクリックする

「OK」ボタンをクリックする

Windows NTの再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

6 「FAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されていることを確認する(→p.133 ~ p.134)で確認したポートまたは上記の(チェック)で追加したポートをクリックする

7 「設定」ボタンをクリックする

8 「詳細」ボタンをクリックする

9 「I/Oポートアドレス」リストで「既定値」をクリックする
「既定値」を選ぶと、次のように設定されます。

COM1:3f8	COM3:3e8
COM2:2f8	COM4:2e8

10 「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリソース(IRQ)をクリックする

11 「OK」ボタンをクリックする

12 Windows NTの再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

13 「閉じる」ボタンをクリックする

14 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

15 「名前」の部分に「c:\¥nt40¥drivers¥reg」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
FAXモデムカードレジストリ設定ツールが起動し、「Serial *」と表示されます。

16 「Serial *」の*の部分がFAXモデムカードのCOM番号-1の項目をクリックする

p.137の ~ の手順でCOMポートを追加した場合には、追加した順番にSerial10000、Serial10001となります。

17 「OK」ボタンをクリックする

レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジストリ設定ツールが終了します。

次回起動時より、設定 / 変更内容が有効になります。



チェック!! FAXモデムカードレジストリ設定ツールはレジストリを操作するため、使用方法を誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用に際しては、十分注意してください。またレジストリのバックアップをとっておくことをお勧めします。

7. 内蔵PIAFSのセットアップ(VA30C/BSのみ)

次の手順でセットアップを行ってください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする

2 「追加」をクリックする

3 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

4 「ディスク使用」ボタンをクリックする

5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「C: ¥NT40 ¥PIAFS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

6 モデル一覧から「PIAFS32K」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

7 インストールするポートに「選択したポート」を指定する

8 「COM1」を選び「次へ」ボタンをクリックする

9 画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

10 本機を再起動する

8. スーパーディスクドライブのセットアップ(3モード対応にする場合)

-  **チェック!!** ・本機内蔵、または別売のスーパーディスクドライブで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライブおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。
- ・1.2MB(1024バイト/セクタ)はPC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことです。専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。
 - ・スーパーディスク 3モード対応ドライブおよび専用フォーマットユーティリティのセットアップではWindowsNT 4.0をインストールしたドライブをC、CD-ROMドライブをEとして説明します。実際と異なる場合は読みかえてください。

スーパーディスク 3モード対応ドライブのセットアップ

- 1** Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「ドライブ」タブをクリックする
- 4** 「追加」ボタンをクリックする
- 5** 「ドライブのインストール」画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6** 「フロッピーディスクからインストール」画面で、「配布ファイルのコピー元」にC:\¥NT40¥LS120DRVを指定して「OK」ボタンをクリックする

- 7 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 8 「Windows NTセットアップ」画面で、C:¥NT40¥LS120DRVと指定して「続行」ボタンをクリックする
- 9 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする

専用フォーマットユーティリティのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」にC:¥NT40 ¥MKELS120 ¥SETUP.EXEと指定して、「OK」ボタンをクリックする
- 4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

スーパーディスク 3モード対応ドライバのアンインストール

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「Panasonic SuperDisk」をクリックする
- 5 「削除」ボタンをクリックする
- 6 「はい」ボタンをクリックする
- 7 「OK」ボタンをクリックする

- 8 「コントロールパネル」の「デバイス」アイコンをダブルクリックする
- 9 「デバイス一覧」から「mkefpd」をクリックする
- 10 「スタートアップ」ボタンをクリックする
- 11 「スタートアップの種類」で「システム」が選択されているので、「無効」をクリックする
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックする
- 14 「閉じる」をクリックする
- 15 本機を再起動する

専用フォーマットユーティリティのアンインストール

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリックする
- 2 画面に表示されるメッセージに従ってアンインストールを行う
- 3 本機を再起動する



チェック!! 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」および「専用フォーマットユーティリティ」をセットアップした場合、次の媒体は、必ず「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。Windows NTのエクスプローラでのフォーマット、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットはできません。

- ・720KB/1.2MB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

 **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」をセットアップしていない場合、次の媒体は、通常通りWindows NTのエクスプローラでのフォーマットや、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットができます。

- ・720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

専用フォーマットユーティリティの起動

 **チェック!!** 「専用フォーマットユーティリティ」は、起動時に、スーパーディスクドライブにセットされている媒体を判別して、フォーマット可能な容量を表示します。そのため、「専用フォーマットユーティリティ」を起動する前に、フォーマットを行う媒体をスーパーディスクドライブにセットしておく必要があります。また、「専用フォーマットユーティリティ」起動後に媒体を入れ替えた場合は、「専用フォーマットユーティリティ」を一度終了してから再起動する必要があります。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDiskフォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリックする

専用フォーマットユーティリティについての注意

「専用フォーマットユーティリティ」で、媒体を1.2MBでフォーマットする場合、次の項目を選択してください。

- 「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」
- 「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットすると、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」がセットアップされている場合、1.2MBフォーマットのフロッピーディスクに対して、コマンドプロンプトからchkdskコマンドを実行することはできません。誤って実行した場合、フロッピーディスクがRAW表示となりますが、フォーマットされていないわけではありません。フロッピーディスクの内容を確認する場合は、エクスプローラなどをご利用ください。

トラブル解決 Q&A

トラブルの具体的な解決方法を説明しています。

このPARTの内容

トラブルを解決するには
コントロールパネルの開き方
はじめて電源を入れたら
電源を入れたが
バッテリーを使っていたら
電源を切ろうとしたが
画面がおかしい
別売のディスプレイを使っていたら
ファイル、フォルダがおかしい
音がおかしい
NXパッドを操作しても
文字を入力しようとしたら
ファイルを保存しようとしたら
インターネット/パソコン通信しようとしたら
FAXを使おうとしたら

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら
赤外線通信しようとしたら
印刷しようとしたら
フロッピーディスク、スーパーディスク
を使っていたら
ハードディスクを使っていたら
CD-ROMを使っていたら
周辺機器を取り付けようとしたら
アプリケーションを使っていたら
スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら
休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら
スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら
その他

トラブルを解決するには

パソコンは、いろいろなアプリケーションや周辺機器を組み合わせて使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

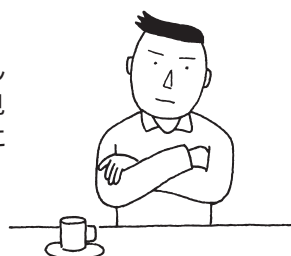
トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

POINT 1

まず、落ち着いて対処する

あわてて電源を切ったり、NXパッドやマウスで何度もクリックしたりしないでください。

ポインティングデバイスやキーボードを操作しても何の反応もなく、画面が止まったように見える場合でも、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのことがあります。しばらく待ってください。



用語 フリーズ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなることを「フリーズ」と言います。「ハングアップ」や「ストール」とも言い、アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウインドウを動かしたり、文字を入力することはできなくても、ポインティングデバイスだけは動かせるということもあります。

POINT 2

メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

POINT 3

原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。

POINT 4

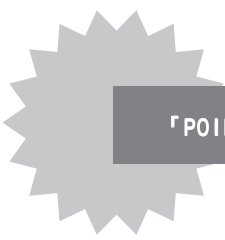
ハードディスクに関連するトラブルのときは

ハードディスクに関連するトラブルだと思われるときは、「スキャンディスク」や「システムファイルチェッカー」を使ってみてください。Windows 98やアプリケーションが起動しない、正常に使えない、ファイルが開けないといったトラブルはハードディスクに原因があることがあります。

そのような場合は、PART5の「ヘルプを利用する」(→p. 259)をご覧ください。「スキャンディスク」や「システムファイルチェッカー」を実行してください。

周辺機器に原因があるときは

周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取り外して、トラブルが起きた操作をやり直すと、何に関連したトラブルなのかがわかります。



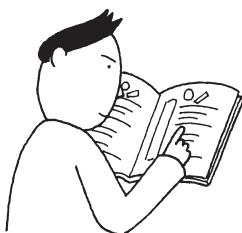
「POINT 1」～「POINT 4」で原因が解決しなかったときは

→次のページの「POINT 5」へ進んでください。

索引の「トラブル解決Q&A内容一覧」から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをご覧ください。

他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る



あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

参照

ヘルプの使い方→PART5の「ヘルプを利用する」(p.259)

メモ

アプリケーションの多くには、READMEファイルがついています。READMEファイルには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがありますので、ワードパッドなどのワープロソフトで開いて、お読みください。

本機に関する情報は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリックすることでご覧いただけます。

それでも原因が解決しなかったときは

→ 次のページの「POINT 6」へ進んでください。

POINT 6

PART5の「トラブルチェックシート」(→p. 257)に記入する

どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。お問い合わせのときに役立ちます。本機に関する詳細な情報は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「システム情報」をクリックしてご覧ください。



POINT 7

問い合わせる

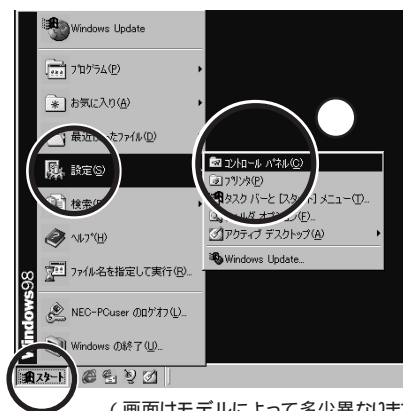
本機に関するお問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

コントロールパネルの開き方

トラブルを解決するために、コントロールパネルを開く必要がある場合は、次のようにして開いてください。

コントロールパネルを開く

- 1 画面左下の「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「設定」にマウスポインタをあわせ、「コントロールパネル」をクリックします。



(画面はモデルによって多少異なります)

「コントロールパネル」の画面が表示されます。

次の方法で開くこともできます。

- 1 「マイコンピュータ」をダブルクリックし「コントロールパネル」をダブルクリックしてください。



(画面はモデルによって多少異なります)

コントロールパネルの画面が表示されます。



(画面はモデルによって多少異なります)

はじめて電源を入れたら

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、セットアップという作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run SETUP」または「Press F1 to resume, F2 to setup」のメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

・VA36D/AX、VA30C/BSの場合

1 キーボードの【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい」を選び、【Enter】を押します。

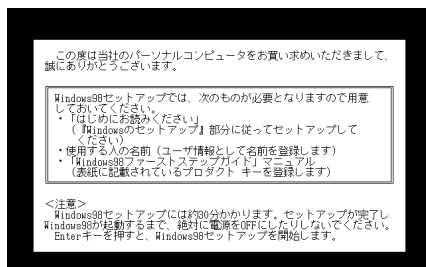
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

・上記以外の機種の場合

1 キーボードの【F2】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

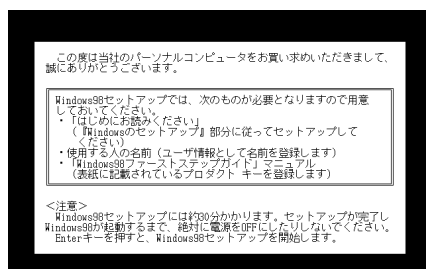
参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 キーボードの【F10】を押します。

セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。

3 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときに「Save to Disk partition not found...」で始まるメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった



もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください

名前を入力する画面が表示されたとき

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「名前を登録する」からセットアップを続けてください。

自動的にスキャンディスクがはじまったとき

スキャンディスクは、ハードディスクの表面やハードディスクに保存されているデータに障害がないか調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときは、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見されたときは、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。



参照 再セットアップをするときには→「PART2 再セットアップするには」(p.65)

セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)



本当にフリーズしていますか?

Windows 98のセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分～十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」のウィンドウで名前や会社名を入力します。

参照 再セットアップするときには → 「PART2 再セットアップするには」(p.65)

セットアップ時にプロダクトキーを入力すると、「プロダクトキーが無効です」と表示され、入力できない

 →  プロダクトキーは正しく入力されていますか？

『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されているプロダクトキーを確認し、次の文字に注意してもう一度プロダクトキーを入力してください。

間違いやすい文字

6 と G

B と 8

Q と α (オー)

V と Y

W と U

P と R

D と α (ゼロ)

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された

Windows 98またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったディスクをセットし直すか、またはディスクを取り出して、何かキーを押してください。



フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、PC98-NXシリーズ用のWindows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていなかったとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていないときも、再セットアップしてください。



再セットアップをするときには→「PART2 再セットアップするには」(p.65)

「Non-system disk or disk error」と表示された

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。

ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。



フロッピーディスクドライブやスーパーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

☹️➡️😊 フロッピーディスクがセットされていませんか？

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか、またはフロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電源を入れ直してください。



フロッピーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったフロッピーディスクを使用してください。

「Operating System not found」と表示された

☹️➡️😊 フロッピーディスクがセットされているか確認してください

フロッピーディスクがセットされているとき

本機で使用できないフロッピーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。フロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。



フロッピーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったフロッピーディスクを使用してください。

フロッピーディスクがセットされていないとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。

参照 Windows 98起動ディスクから本機を起動するには→「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい」(p.241)

- ・ Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4. 領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、Cドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2. アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

- ・ 「領域」のところに何も表示されていない。または、Cドライブの「システム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。PART2の「再セットアップするには」をご覧ください。

参照 再セットアップをするときには→「PART2 再セットアップするには」(p.65)

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした

 →  フロッピーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクによっては、本書に書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。

起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされているか確認してください。

フロッピーディスクがセットされているとき

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき、または上記の手段でも問題が解決しなかったとき

メッセージや症状を書きとめて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプ  が点灯していないとき

 →  ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？ バッテリーは充電されていますか？

『はじめにお読みください』をご覧ください。バッテリーパックやACアダプタを接続し直してください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

 **チェック!!** ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

電源ランプ  が点灯しているとき

 →  ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか？

 (輝度調節つまみ)のある機種は輝度調節つまみを調整してください。

輝度調節つまみのない機種では【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押し、ディスプレイの輝度を調整してください(APM モード時のみ)。

 →  外付けのディスプレイを接続していませんか？

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニター」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。本機が APM モードのときに、キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイを使う」をご覧ください。

 →  液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか？

強制的に本機の電源を切った後、Safe modeでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照 強制的に電源を切る方法 → 「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」
(p.166)

チェック! これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

 →  Windows 98の電源管理で「モニタの電源を切る」を設定していませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー【Shift】などを押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧ください。スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

Windows 98が起動しない

パソコン本体の設定(BIOSの設定)が正しくない可能性があります。次の方法でパソコン本体の設定(BIOSの設定)をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。

- 1 本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 NECのロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 4 VA36D/AX、VA30C/BSの場合は、「デフォルト値をロード」を選び、
【Enter】を押します。
上記以外のモデルでは、キーボードの【F9】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

5 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

6 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認ダイアログボックスが表示されます。

7 「はい」を選び、【Enter】を押します。

これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

 **チェック!!** パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻しても、パスワードは初期値に戻りません。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された

 →  「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されているか確認してください

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】を押してください。次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックすると、Windows 98 がSafe modeで起動します。

 **チェック!!** ・画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。Safe modeを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、Safe modeで起動してください。Safe modeで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。

・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。

 **参照** 再セットアップするときには →「PART2 再セットアップするには」(p.65)

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

Windowsが不正にシャットダウンした後は、自動的にスキャンディスクが起動し、ハードディスクに異常がないかチェックが行われます。ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。



チェック! 再セットアップの必要があるとき

- ・スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき



正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態(サスペンド状態)にした内容が何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。



参照 再セットアップするときには→「PART2 再セットアップするには」(p.65)

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



設定したパスワードを正しく入力しましたか?

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。



 (キャップスロックキーランプ) または  (ニューメリックロックキーランプ) が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプが点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプが点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してCaps Lockを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、【Num Lock】を押してNum Lockを解除してから、パスワードを入力してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows 98のパスワードを忘れたとき

Windows 98のパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windows 98を再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。



本機の購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れてしまったとき

ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れてしまったときには、解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身より専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただく必要があります。専用品紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない

- ☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ  とスクロールロックランプ  が交互に点灯していませんか？

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ  とスクロールロックランプ  が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

- ✔️ **チェック!!** スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX / file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表示された

- ☹️➡️😊 増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしませんでしたか？

増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしたときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照 ➡️ 休止状態の設定 → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

- ☹️➡️😊 休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか？

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

- ☹️➡️😊 休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか？

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。



チェック!! OSをWindows NT 4.0にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示されますが、これは、Windows NT 4.0がハイバネーションをサポートしていないためで問題ありません。

バッテリーを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない

☹️➡️😊 バッテリーがフル充電されていませんか？

バッテリーがフル充電されている場合はバッテリー充電ランプが消灯しています。既にバッテリーがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。

☹️➡️😊 バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？

お使いのモデルによっては、バッテリーパックが接触不良のときにバッテリー充電ランプが点滅します。バッテリーパックを取り外し、バッテリーパックの端子部分を柔らかい布で拭いてください。

タスクバーに電源アイコン  または  が表示されない

バッテリーパックから本機を駆動している場合は、電源アイコン  が表示され、 は表示されません。

ACアダプタを使用してACコンセントから本機を駆動している場合は  が表示され、 は表示されません。

フル充電したのに、バッテリー充電ランプ  が点灯する

バッテリーは少しずつ自然放電しているのを、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプが点滅する

☹️➡️😊 バッテリーが正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリーパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリーで本機を使う」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので別売のバッテリーパックと交換してください。

電源を切ろうとしたが

パソコンの電源を切るときは、必ず正しい手順で操作してください。正しい手順を守らないと、データを壊してしまうことがあります。

電源を切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

2 「電源を切れる状態にする」をクリックして  (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ  が消えます。

メモ

- ・作業中に誤って電源スイッチを操作してしまったときは、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示されることがあります。このようなときは「キャンセル」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。「OK」ボタンをクリックすると、しばらくして自動的に電源が切れます。
- ・機種によっては、APMモードで使用時に、BIOSセットアップメニューで、電源スイッチでスリープになる設定にしている場合は、電源スイッチを操作したときにスリープ状態になりますので、ご注意ください。

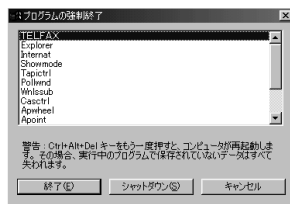
画面は表示されているが正しい手順で電源が切れないとき

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。

次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、本機の電源を切ってください。

1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押してください。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはアプリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。



この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

3 もう一度、「正しい電源の切り方」に従って電源を切ってください。

この方法でも電源を切ることができないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従って本機を強制的に終了させてください。



強制的に電源を切る方法

電源スイッチを約4秒以上操作し続ける

電源スイッチがスライド式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上スライドさせてください。

電源スイッチがボタン式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。



チェック!!

本機をAPMモードで使用時に、BIOSセットアップメニューで電源スイッチでスリープになる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまふことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面が表示されていないとき

アプリケーションによっては、スタンバイ状態(サスペンド)または、休止状態(ハイバネーション)にすると、電源を切ることができなくなることがあります。このようなときには、いったん電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面がおかしい

「スタート」ボタンがない、タスクバーがない

☹️➡️😊 キーボードの【】Windowsキー)を押してください

タスクバーが表示されます。

☹️➡️😊 ゲームソフトなど常に画面いっぱいに表示されるアプリケーションが起動していませんか？

このような場合、タスクバーは表示されません。アプリケーションを終了してください。

☹️➡️😊 タスクバーの設定で「常に手前に表示」がチェックされていませんか？

タスクバーの中のボタンやアイコンがないところで、右クリックし、「プロパティ」をクリックして「タスクバーのプロパティ」が表示されたら、「常に手前に表示」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にします。

☹️➡️😊 マウスポインタを画面のいちばん下に移動してください

タスクバーが表示されたとき

タスクバーが「自動的に隠す」設定になっています。

いつもタスクバーを表示しておきたいときは、「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーとスタートメニュー」→「タスクバーオプション」タブで「自動的に隠す」の ☒ (オン) をクリックして ☐ (オフ) にし、「OK」ボタンをクリックします。

マウスポインタが↑または↔︎に変わったとき

タスクバーの幅が狭くなっています。↑または↔︎に変わったところから、画面の中心に向かってドラッグすると、タスクバーが出てきます。



「スタート」ボタンが表示されていないなくても、【】Windowsキー)を押すと、スタートメニューが表示されます。

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる



Windows 98の電源管理で「モニタの電源を切る」を設定していませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー（【Shift】など）を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態（サスペンド）になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧ください。スタンバイ状態（サスペンド）から復帰（レジューム）させてください。

タスクバーが2列になってしまう

画面をゲーム画面などに切り替えていると、画面中のタスクバーが2列になる場合があります。タスクバーの最上部にマウスポインタを合わせて↑の状態になったところで下の方にドラッグすると、タスクバーが1列に戻ります。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい

次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 マイコンピュータを開き「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来のWindowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

MS-DOSモードを終了してWindows 98に戻りたい

EXITと入力して【Enter】を押します。

Windows 98が起動します。

MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバが起動した

Windows 98のスクリーンセーバを設定している場合、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトでマウス操作のみ行っていると、Windows 98のスクリーンセーバが起動することがあります。

次の手順で、スクリーンセーバが動作しないように設定してください。

1 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトが、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に変わります。

2 【Alt】を押したまま【スペース】を押します。

MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。

3 メニューから「プロパティ」を選択します。

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。

4 「その他」タブをクリックし、「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバを使う」の ☒ (オン) をクリックして ☐ (オフ) にします。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない

次のどちらかの方法で、操作できる位置までウィンドウを移動してください。

- 操作中のウィンドウのタイトルバーをドラッグし、操作できる位置まで移動する
- キーボードを使って、操作できる位置までウィンドウを移動する

  キーボードを使ってウィンドウを移動させる方法

1 【Alt】を押したまま【Tab】を何回か押して、移動したいウィンドウをアクティブな状態にします。

2 【Alt】を押して、【スペース】を押します。

3 メニューが表示されたら、【↓】を押して「移動」を選び、【Enter】を押します。

4 【↑】【↓】【←】【→】を押して、操作できる位置までウィンドウを移動します。

5 【Enter】を押します。



タスクバーの何もない部分で右クリックし、メニューから「上下に並べて表示」または「左右に並べて表示」を選択してウィンドウを再表示することができます。

マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い



ポインタの速度を調整してみてください

「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウで「動作」タブをクリックし、「ポインタの速度」を調節してください。



イーゼースクロール機能を☒ (オン)にしていますか？

NXパッドでイーゼースクロール機能を使っているときには、パッドのスクロール領域(右端)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。



参照 → イーゼースクロール機能について → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ポインティングデバイス」

使っていたウィンドウがなくなった。他のウィンドウの後ろに隠れてしまった



タスクバーに、使っていたウィンドウと同じ名前のボタンがありますか？

タスクバーに表示されている使っていたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている場合、いちばん手前に表示されます。



タスクバーに、使っていたウィンドウと同じ名前のボタンがないときは、そのウィンドウは閉じています。もう一度開き直してください。

また、アプリケーションによってはタスクバーに表示されていなくても【Alt】を押したまま【Tab】を何回か押して表示を切り換えることができるものもあります。

コントロールパネルのアイコンがおかしい

次のような操作を行うと、コントロールパネルに表示される一部のアイコンが、通常とは異なるデザインで表示されることがあります。

- ・「コントロールパネル」のウィンドウを最小化した状態で、「エクスプローラ」を起動して「コントロールパネル」を選ぶ
- ・「エクスプローラ」の「表示」メニューで「最新の状態に更新」を選んだ後、「コントロールパネル」のサイズを元に戻す

アイコンのデザインを元の状態に戻すには、一度「コントロールパネル」を終了した後、もう一度「コントロールパネル」を起動してください。

最小化したヘルプが元に戻ってしまう

「ヘルプ」のウィンドウを最小化した状態で、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「画面」で画面の設定を変更すると、最小化していた「ヘルプ」のウィンドウが元のサイズに戻る場合があります。「ヘルプ」のウィンドウを再度最小化する場合は、ウィンドウ右上の  をクリックしてください。

別売のディスプレイを使っていたら

ディスプレイの省電力機能を設定できない



ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。



ディスプレイは省電力機能に対応していますか？

省電力機能は、パソコン本体やパソコンに接続されている周辺機器の電源を詳細に設定し、電力消費を節減することができる機能です。なお、省電力機能に対応していないディスプレイでは、この機能は設定できません。ディスプレイが省電力機能に対応しているか、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。



「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。



ここに使っているディスプレイの種類が表示されます

3 「省電力モニタ」をクリックして ☒ (オン) にします。



参照 ディスプレイの種類を指定するときには → 『活用ガイド ハードウェア編』PART2 の「外部ディスプレイを使う」

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください

ディスプレイの種類が表示されているときは、実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「ディスプレイの種類が指定されていません…」というメッセージが表示される

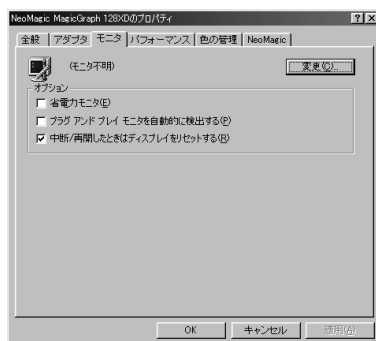
☹️➡️😊 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。



参照 ディスプレイの種類を指定するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイを使う」

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作で解像度を選ぶことができるようになります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 98を起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。
- 4 「オプション」の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして ☐ (オフ) にします。



- 5 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウインドウが表示されます。
- 7 「再起動する」をクリックして ☒ (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。

- 8 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 9 「設定」タブをクリックします。
- 10 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして「変更」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 11 「次へ」ボタンをクリックします。
- 12 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。
- 13 「すべてのハードウェアを表示」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にします。



(画面はモデルによって多少異なります)

- 14 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「標準モニタの種類」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 ディスプレイの製造元とモデルーディスプレイ添付のマニュアル

15 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

16 「完了」ボタンをクリックします。

17 「閉じる」ボタンをクリックします。

18 「OK」ボタンをクリックします。

19 Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。

再起動後、高解像度を選ぶことができるようになります。

参照 解像度の変更をするときには→『活用ガイド ハードウェア編』PART 1の「画面表示機能」

ファイル、フォルダがおかしい

ファイルが見つからない

ファイルがどのフォルダに入っているかわからないとき

「スタート」ボタン→「検索」の「ファイルやフォルダ」で探してください。



フォルダやファイルを保存した日付がわかっているときは、「検索」ウィンドウの「日付」タブで検索できます。

ファイルがどのフォルダにはいつているかわかっているとき



ファイルのアイコンが、他のアイコンの下に重なっていませんか？

そのフォルダのウィンドウの「表示」メニューの「等間隔に整列」をクリックし、アイコンを並べ直してください。

必要なファイルを消してしまった



「ごみ箱」にフォルダやファイルが残っていませんか？

「ごみ箱」を開いてフォルダやファイルが残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの中から、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。



Windows 98では、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違えてフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。



チェック!! 次のような場合はごみ箱にファイルが保存されません。

- ・フロッピーディスクやスーパーディスクなどに保存されているフォルダやファイルを削除したとき
- ・「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」を☒ (オン)にしているとき
- ・ごみ箱の最大サイズを0%にしているとき
- ・ごみ箱のサイズを超えるファイルを削除したとき

長いファイル名をつけられない。表示できない

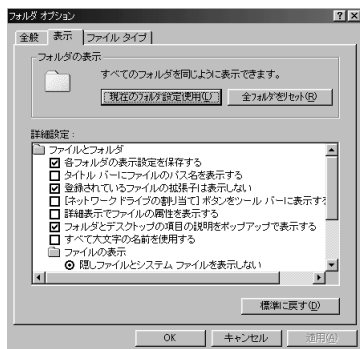
☹️➡️😊 MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98でWindows 98またはWindows 95用のアプリケーションを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、MS-DOS用やWindows 3.1用のアプリケーションを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

ファイルの拡張子が表示されない

次の手順に従って設定を変更してください。

- 1 「スタート」ボタン→「エクスプローラ」で「エクスプローラ」を起動し、「表示メニュー」→「フォルダオプション」をクリックします。
または、デスクトップにある「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして「マイコンピュータ」を起動し、「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックします。
「フォルダ オプション」ウィンドウが表示されます。
- 2 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダ」で「登録されているファイルの拡張子は表示しない」の☒をクリックして☐（オフ）にし、「OK」ボタンをクリックしてください。



Windowsフォルダをクリックしても、フォルダの内容が表示できない

Windowsフォルダのウィンドウで、「表示」メニューの「Webページ」をオンにしている場合、システム関係の重要なファイルを守るため、フォルダの内容を表示する前に「警告」が表示されます。「ファイルの表示」をクリックするとWindowsフォルダの内容を表示することができます。

 **チェック!!** Windowsフォルダにはシステムファイルなどの重要なファイルが入っていますので、十分注意してください。

文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源を切ると、フロッピーディスクやスーパーディスク、ハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくことをおすすめします。

音がおかしい

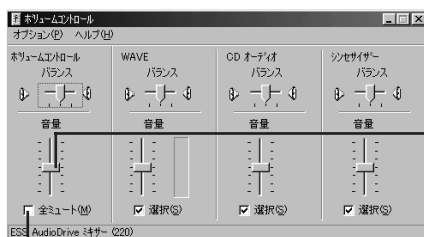
音が出ない、音が大きすぎる

☹️ ➡️ 😊 音量を調節してください

🔊 (音量調節つまみ)がある機種では、つまみで音量を調節してください。つまみがない機種では、キーボードの【Fn】を押したまま【F10】または【F11】を押すか、Windowsのタスクバーの「音量インジケータ」で音量を調節してください。

🗑️🗑️ 音量インジケータでの調節方法

タスクバー右側の「音量」インジケータをダブルクリックし、「ボリュームコントロール」または「Volume Control」の「音量」の  (スライダー) を上下にドラッグして、音量を調節してください。また、「全ミュート」が ☒ (オン) になっていると音が出ません。クリックして ☐ (オフ) にしてください。調節したら、右上の  ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



このつまみを上下にドラッグして音量を調整します。

ここが ☒ (オン) になっていると音が出ません。

(モデルにより画面が多少異なります)

☹️ ➡️ 😊 ヘッドホンが接続されていませんか？

ヘッドホンが接続されていると、内蔵スピーカからは音が出ません。

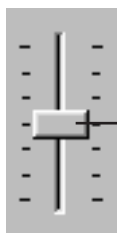
スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)

マイクロホンを使用しているときに、マイクロホンをスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではありません。

スピーカの音量を下げるか、マイクロホンの音量を下げてください。またはマイクロホンを内蔵スピーカから遠ざけてください。

✕モ マイクロホンの音量の下げ方

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリックします。
「ボリュームコントロール」または「Volume Control」ウィンドウが表示されます。
- 2 「オプション」の「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」のウィンドウが表示されます。
- 3 「音量の調整」で「再生」を  (オン) にし、「表示するコントロール」の「マイクロフォン」または「Mic」が  (オン) になっていることを確認してください。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
「ボリュームコントロール」または「Volume Control」ウィンドウが表示されます。
- 5 「マイクロフォン」または「Mic」のスライダーを上げ下げして調節します。



このつまみを上下にドラッグして
音量を調整します。

ダイヤラの使用時に音が出ない(FAXモデム内蔵モデル)

ダイヤラがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。
ボイス機能に対応したアプリケーションを使用してください。

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い

キーボードのキーを押すと反応する

☹️➡️😊 イーゼースクロール機能を☑️(オン)にしていますか?

NXパッドでイーゼースクロール機能を使っているときには、パッドのスクロール領域(右端)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。

参照 イーゼースクロール機能について →『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ポインティングデバイス」

☹️➡️😊 指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

☹️➡️😊 NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

☹️➡️😊 NXパッドを使用しない設定になっていませんか?

VA36D/AX、VA30C/BSの場合は、BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ」の「NXパッド」を「使用する」に設定してください。上記以外のモデルの場合は、BIOSセットアップメニューの「詳細」の「NXパッド&PS/2マウス」を「自動」または「両方」に設定してください。

参照 NXパッドの設定 →『活用ガイド ハードウェア編』の「PART 3 システムの設定」

キーボードのキーを押しても反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには→「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.166)

☹️➡️😊 「マウスのプロパティ」で「左きき用」になっていませんか？

マウスの設定が「左きき用」になっているとタップ&ドラッグができなくなります。次の手順に従って設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ボタン設定」で「右きき用」に設定してください。

反応が鈍い

☹️➡️😊 ポインタの速度が遅くなっていませんか？

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

ダブルクリックしにくい

次の方法でダブルクリックの速度を調整することができます。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ダブルクリック速度」を好みの速度に調節してください。

3 「OK」ボタンをクリックします。

文字を入力しようとしたら

キーボードのキーを押しても、何も反応しない



マウスポインタが砂時計の形⌚に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。



参照 強制終了をするときには→「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.166)

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある



キーボードの設定は行いましたか？

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。



チェック!! この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなる場合があります。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の  をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。

3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

- 5 「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」の  (オフ) をクリックして  (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。
 - 6 「検索場所の指定」の  (オフ) をクリックして  (オン) にし、キーボードのマニュアルなどについているフォルダを指定します。
 - 7 「次へ」ボタンをクリックします。
- これ以降は画面の指示に従って設定してください。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

-  →  キャップスロックキーランプ  が点灯していませんか？
- キャップスロックキーランプ  が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。
【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。
-  →  Num Lockキーランプ  が点灯していませんか？
- Num Lockキーランプ  が点灯しているときにはキー前面に印字されている数字や記号が入力されます。【Num Lock】を押すとロックが解除され、キー上面の文字が入力される状態になります。
-  →  入力したいモードになっていますか？
- 日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角】を押します。
日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。
-  →  別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)を使っていませんか？
- 別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き) PK-KB011 を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

☹️➡️😊 タスクバーの日本語入力インジケータが✎になっていませんか？



日本語入力インジケータ

日本語入力システムを次のどちらかの方法でオンにしてください。

- キーボードで【Alt】を押したまま【半角/全角】を押す。
- タスクバーの✎(日本語入力インジケータ)をクリックして、「日本語入力-オン」をクリックする。

日本語入力が入オンになると、日本語入力インジケータは🇯🇵になります。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「文字コード表」をクリックします。

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



2 文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。



貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。

参照 ➡️ 文字コード表を使うとき - 文字コード表のヘルプ

MS-DOS プロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

\ の代わりに ¥ を入力して代用することができます。

例) 英語モード >\cd

日本語モード .. >¥cd

バックスラッシュ(\)は、MS-DOS プロンプトが日本語モードの場合はキーを押しても入力できません。入力したい場合は次の手順で一度英語モードにしてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。

「MS-DOS プロンプト」の画面が表示されます。

2 USと入力して【Enter】を押します。

これで英語モードになります。日本語モードにもどす場合は、手順2で「JP」と入力してから【Enter】を押してください。



ファイルを保存しようとしたら

ハードディスクに保存できない

☹️➡️😊 ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.213)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 ライトプロテクトを解除するには→「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.210)

☹️➡️😊 ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

MOドライブなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブなどを接続することができます。

ファイル名の後ろに、入力していない文字「.txt」「.bmp」などが付く

これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的に付けられたためで、異常ではありません。

☒ ☒ おもな拡張子

拡張子には、次のようなものがあります。

.txt	テキストファイル
.doc	テキストファイル、Microsoft Wordの文書データ
.jtd	一太郎9の文書データ
.bmp / .jpg / .gif	画像データ
.hlp	ヘルプファイル
.wav	WAVE形式の音声データ
.exe / .com	実行可能プログラム

長いファイル名をつけられない。表示できない



MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていますか？

Windows 98で、Windows 98またはWindows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

インターネット/パソコン通信しようとしたら

モデムを内蔵していないモデルで、電話回線を利用したインターネット接続をするときは、別売のモデムが必要です。

モデムを設定した後、本機を再起動してください。

接続できない

☹️ ➡️ 😊 モデムがきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください、セットアップしてください。

☹️ ➡️ 😊 接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 電話回線の設定は正しいですか？

使っている電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かを確認してください。また、使っている電話回線が外線発信の必要なものときは、外線発信が設定されているかを確認してください。パソコンの回線の設定は「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確かめられます。パソコンの回線の設定は、使っている電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックして表示される「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで行ってください。



ご使用になる地域の市外局番が「0」ではじまる場合、最初の「0」を除いた番号を入力します

外線発信が必要な回線をご利用の場合は入力します。

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

☹️➡️😊 ダイアルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイアルアップの画面で、正しく設定できているかを確認してください。

☹️➡️😊 Internet Explorerの接続設定は正しいですか？

・インターネットエクスプローラ4.0の場合

1 コントロールパネルの「インターネット」アイコンをダブルクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「モデムを使用してインターネットに接続」が
☐ オフ になっているときはクリックして☒ オン にしてください。

・インターネットエクスプローラ5の場合

1 コントロールパネルの「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイアルアップの設定」でモデムの設定を確認する

☹️➡️😊 電話番号は正しいですか？

接続先の電話番号をもう一度確かめてください。

☹️➡️😊 回線が混雑していませんか？

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

☹️➡️😊 電話を使っていませんか？

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

☹️➡️😊 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 FAXモデムは動作していますか？

デバイス マネージャの画面を表示して(→ p.222) FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

ヘルプについて詳しくは → PART5の「ヘルプを利用する」(p.259)

「モデムが応答しません」と表示される

☹️➡️😊 ポート(COM値)は接続されていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。

通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

参照 周辺機器のマニュアル

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

☹️➡️😊 通信相手との通信条件は正しいですか？

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 本機の近くにテレビやラジオなどがありますか？

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。

本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき
メールの送信形式をテキスト形式にしてください。

ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

- 1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。
- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 4 「ニュース送信の形式」シートの「テキスト形式」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

これで送信形式が変更されました。



メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして ☒ (オン) にします。

☹️➡️😊 半角のカタカナや特殊記号を使っていますか？

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)は使わないでください。

☹️➡️😊 件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていますか？

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない



メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか？

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。



圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

「発信音が聞こえません。」と表示された



電話回線は正しく接続されていますか？

モジュージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか？電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。



内線 / 外線の区別がある電話回線を使っていませんか？

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こえる場合は、次の手順に従って設定してください。

1 コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「プロパティ」ボタンをクリックして、「接続」タブをクリックします。

3 「接続オプション」欄の「トーンを待ってからダイヤルする」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にします。

4 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

☹️➡️😊 加入電話回線以外の回線と接続していませんか？

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。
また、本機を破損するおそれがあります。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された

☹️➡️😊 電話回線は正しく接続されていますか？

モジュージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか？電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

☹️➡️😊 トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。

1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。

3 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された

☹️➡️😊 電話回線が混み合っていないですか？

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。

☹️➡️😊 トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。上記の「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示された

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。p.197の「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された



電話回線の設定は正しいですか？

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認して設定してください。



ご使用になる地域の市外局番が“0”ではじまる場合、最初の“0”を除いた番号を入力します

外線発信が必要な回線をご利用の場合は入力します。

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

2 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

- 1 コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。



・これを右にドラッグすると大きな音になります。
・「オフ」になっているとモデムからの音がなくなります。

- 3 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

- ✓ **チェック!!** ・モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(→ p.192)をご覧ください、対処してください。
- ・ダイヤラを使用している場合は、モデムから音が出ないことがあります。「ダイヤラの使用時に音が出ない」(→ p.183)をご覧ください、対処してください。

- ・上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、モデムの製造元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン作業」をクリックしてください。

「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、Internet Explorerやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、「Microsoft Webページ」「よく寄せられる質問」の順にクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

☹️➡️😊 接続は正しくできていますか？

モデムケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️➡️😊 発信命令の送り方や条件は正しいですか？

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確認してください。

☒☒ ATコマンド一覧を見る方法

(VA36D / WX、VA33D / WX、VA33D / WT、VA33D / WS、VA30H / WS、
VA30C / BS)

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」に次のように入力します。

C:¥windows¥ATCREAD.DOC

3 「OK」ボタンをクリックします。



FAXを使おうとしたら

FAXモデムを内蔵していないモデルで、FAX機能を使うときには、別売のFAXモデムが必要です。

新規にFAXモデムの設定を行った場合は、本機を再起動してください。

FAXを自動受信できない

次のような場合は、FAXの自動受信はできません。

- 相手がファクシミリ信号を出さないタイプのFAXの場合
- コンビニエンスストアなどのFAXで、ファクシミリ信号を出さないようにしている場合
- 海外から送られてきたFAXで、ファクシミリ信号が出ていない場合

かかってきた電話がFAXであれば自動的にFAXとして受信しますが、相手がFAXであっても、ファクシミリ信号「ポー・ポー・ポー…」という音が送られてこないとFAXとして受信できません。

☹️➡️😊 接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルがFAXモデムに正しく接続されているかどうか確認してください。また、機種によっては、液晶ディスプレイが閉じていると本機の電源が入らないように設定されている場合があります。FAXの自動受信をしたいときには、液晶ディスプレイを開けておいてください。

電話をFAXとして受信してしまう

☹️➡️😊 FAXソフトの「応答までのコール数」が少なくありませんか？

「応答までのコール数」が少ないと、通常の通話用の電話もFAXとして受信してしまいます。「応答までのコール数」を多くするか、応答を「手動」に設定してFAXの受信が始まる前に受話器を取ってください。

内蔵FAXモデムを4線式の回線につなぎたい

4線式の回線には接続できません。2線式の回線に接続してください。

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

LAN内蔵モデル以外では、別売のLANカードが必要です。LANの接続については、ネットワーク管理者にご相談ください。

 **チェック!** ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。

ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ネットワーク通信機能」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

 →  接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

 →  設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

 →  「Microsoft ネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか？

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoft ネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

 →  お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか？

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

 →  共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか？

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りと書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない

☹️➡️😊 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？
お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。

☹️➡️😊 デバイスを正しく設定していますか？
『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください。正しい設定を行ってください。

☹️➡️😊 デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いていませんか？

p.148の手順に従って「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

Windowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された

☹️➡️😊 デバイスを正しく設定していますか？

BIOSセットアップメニューで、赤外線ポートを使用しない設定にしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください。赤外線通信機能を利用するための準備を行ってください。

印刷しようとしたら

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、パソコンのハードディスクの空き領域、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。

参照

- ・プリンタの接続と設定方法→『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタを使う」
- ・プリンタに添付されているマニュアル

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

☹️➡️😊 プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

☹️➡️😊 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。

これで設定が終了しました。

☹️➡️😊 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタを使う」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナーやインク切れになっていませんか？

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

 →  プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

 →  プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

 →  プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。

 →  使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

 参照 プリンタドライバのセットアップ → プリンタのマニュアル

 →  プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

 参照 プリンタドライバの設定 → プリンタのマニュアル

 →  デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで、パラレルポートを使用しない設定にしている場合は、設定を解除してください。

また、セキュリティの設定をしている場合は、設定を解除してください。

 参照 システムの設定 → 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

 **チェック!!** 上記の操作は、本機をAPMモードにして行ってください。モードの切り替え方については、『活用ガイド ハードウェア編』のPART4の「ACPIモードについて」をご覧ください。

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

☹️➡️😊 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。
- 3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。
これで設定が終了しました。

フロッピーディスク、スーパーディスクを 使っていたら

フロッピーディスク、スーパーディスク、外付けのMQ、PD、ZIPなどのリムーバブルディスクを使っていて問題が起きたときは、ここをご覧ください。

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない



フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。



チェック!! 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。
ディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない

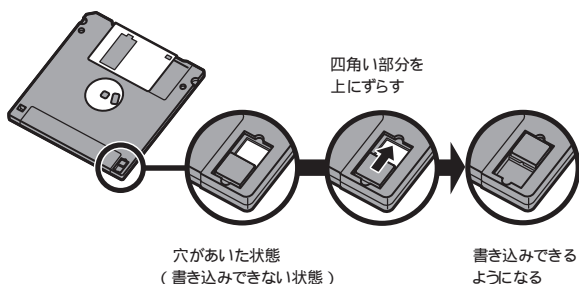
☹️➡️😊 ディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

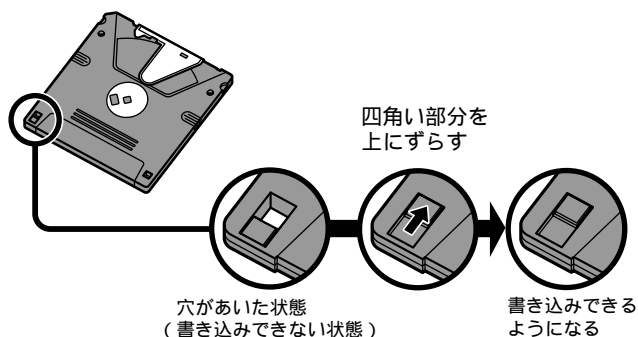
メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクには、記録されている内容を間違って消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能（ライトプロテクト機能）があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうにずらしてください。

フロッピーディスクの場合



スーパーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

2DDのフロッピーディスクに書き込みができない

2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。

フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。

なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

ディスクに飲み物をこぼしてしまった

本機の故障の原因になるので、汚れたディスクは使わないでください。

ディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまうときに備えて、バックアップをとっておくことをおすすめします。

ディスクを誤ってフォーマットしてしまった

ディスクをフォーマットすると、保存していたデータはすべて消去されます。市販のユーティリティソフトなどで復旧できることもあります、確実ではありません。

 **チェック!!** 必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

ディスクコピーやフォーマットができない

 ➡  セットしたディスクの容量を確認してください

Windows 98では、1.2Mバイトや120Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピーしたり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることはできません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5インチフロッピーディスク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

なお、スーパーディスクドライブですでに1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクを1.44Mバイトにフォーマットし直そうとすると、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」から「MS-DOSプロンプト」を起動して、次のように入力してください。

```
FORMAT A: /F:1.44【Enter】
```

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない

 ➡  パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』をご覧ください。スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスクを使っていたら

「マイコンピュータ」の中に表示される  がハードディスクです。

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

- ハードディスクを増設する
- 「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する

パソコンを使っていくと、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーションや、どのプログラムからも呼び出されていない「DLL ファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。そのようなときは、「ディスク クリーンアップ」を使うと必要のないファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。

ディスク クリーンアップについては、Windows 98の「ヘルプ」で「ディスク クリーンアップ」をキーワードにして検索してください。

参照 「ヘルプ」について→「ヘルプ」

- 「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

ごみ箱を空にしても、アイコンが消えない場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックします。

- 「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで行います。



チェック!! ゴミ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはゴミ箱に保管されずに消えてしまいます。

- 「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増やすことができます。

参照 ドライブスペース → 『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』

- インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 ・添付アプリケーションの削除 → PART1の「アプリケーションの削除と追加」

・別売のアプリケーションの削除 → アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除した「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こります。スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される

Windows 98がインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。

このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい



FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成してください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成する必要があります。



参照 ▶ FAT32ファイルシステム → PART2の「FAT32ファイルシステムの利用」(p.112)

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない



FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができます。



参照 ▶ FAT32ファイルシステム → PART2の「FAT32ファイルシステムの利用」(→ p.112)

「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない

MS-DOSモード時に組み込まれる不要なドライバや常駐プログラムを削除および無効にします。

Windowsが起動するドライブ内の「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」を「メモ帳」などで開き、無効にするドライバの行の先頭に、半角文字で次のように入力して保存します。

REM <無効にするドライバ名>

FAT32を利用したい

「ドライブコンバータ(FAT32)」やカスタム再セットアップでFAT32を適用することができます。



参照 ▶ ドライブコンバータ(FAT32) → PART5の「ヘルプを利用する」(p.259)

FAT32ファイルシステム → PART2の「FAT32ファイルシステムの利用」(→ p.112)

CD-ROMを使っていたら

CD-ROMドライブが搭載されていないモデルでCD-ROMを使用するときは、CD-ROMドライブが必要です。また、別売のCD-ROMドライブをご使用の方は、別売のCD-ROMドライブに添付の説明書とあわせてご覧ください。

CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ」の「非常時のCD-ROMの取り出し方」に従ってください。

CD-ROMをセットしても自動起動しない

☹️➡️😊 そのCD-ROMは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックして起動してください。

☹️➡️😊 CD-ROMのプロパティで自動起動が設定されていますか？

次の手順でCD-ROMドライブのプロパティを確認します。

1 p.148の手順に従って「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の左の $\oplus$ をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックします。

3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、☒ (オン) にします。



ここが☒ (オン) になっていないと CD-ROM の自動起動ができません。



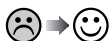
自動起動の設定を解除する場合は、「挿入の自動通知」のチェックボックスを☐ (オフ) にします。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

- 6 「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

CD-ROM のデータを読み出せない、音楽 CD の再生中に音飛びする



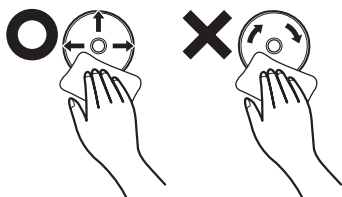
CD-ROM、音楽 CD は正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽 CD の表裏を確認して、本体の CD-ROM ドライブのディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。



CD-ROM、音楽 CD が汚れていませんか？

CD-ROM が汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



☹️➡️😊 CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？

傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。



添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

☹️➡️😊 このパソコンに何らかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

☹️➡️😊 このパソコンで使えるCD-ROMかどうか確認してください

このパソコンで使えるCD-ROMを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

☹️➡️😊 音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクなどを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクなどを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクなどを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

☹️➡️😊 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

☹️➡️😊 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。



アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネジメント機能をオフにしてください。

CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、次のようなときにはドライブ番号が変更されます。

- ・別売のCD-ROMドライブを増設したとき
- ・CD-ROMドライブの設定を変更したときなど

メモ

特に指定しなければ、CD-ROMドライブのドライブ番号は、最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます。

例：最後のハードディスクがDドライブのとき、CD-ROMドライブはEドライブ

CD-ROMドライブのドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 p.148の手順に従って「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左の $\oplus$ をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」をクリックして表示された一覧の中から選びます。



終了ドライブ文字も自動的に変更されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。
- 6 Windows 98の再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

MS-DOS モードでCD-ROMドライブを使いたい

出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使うことはできません。

MS-DOS モードでCD-ROMドライブを使うためには、設定が必要です。PART5の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」をご覧ください。

CD-ROMの読みとりエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、CD-ROMを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

☹️➡️😊 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、p.148の手順に従って「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウインドウの「デバイスマネージャ」タブで確認します。

メモ デバイスマネージャの表示方法

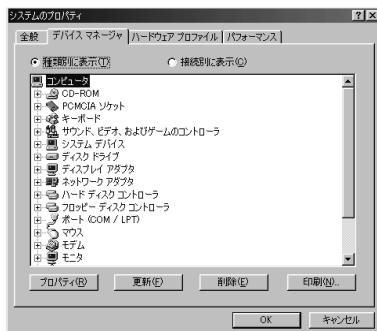
1 「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。



2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。



参照 割り込みレベル、DMAチャンネル→『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャンネル」

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

☹️➡️😊 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 周辺機器のマニュアル

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、SafeモードでWindows 98を起動して、次の操作にしたがって設定してください。

SafeモードでWindows 98を再起動します。

1 本機の電源を入れて、Windows 98を起動します。

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続けて、表示される画面で「3」を選び【Enter】を押します。

3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。

「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックします。



Safeモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順1～3を実行してください。

取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

3 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。

4 「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ☒ (オン) をクリックして ☐ (オフ) にします。

5 「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98を再起動すると、通常モードで立ち上がります。

周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 前記の1から3の手順を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できます。次の「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」をご覧ください。

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない



ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。

次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(→ p.222)
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 ハードウェアの左の田をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「Microsoft Windows Update」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

- 9** 「更新されたドライバ(推奨)」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム ツール」→「システム情報」をクリックします。

「Microsoftシステム情報」ウィンドウが表示されます。

- 2** メニューバーの「ツール」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

- 1** 「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

- 2** 「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

アプリケーションを使っていたら

アプリケーションが起動しない



アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときはそれらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。



複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できなくなることがあります。



参照 アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べる際には→アプリケーションのマニュアル

アプリケーションを削除したい

一度削除すると再セットアップしない限り元に戻せない(再追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。



参照 アプリケーションを削除するときには→PART1の「アプリケーションの削除と追加」

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。



参照 画面の表示色を変更するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「画面表示機能」

アプリケーションをインストールできない

☹️➡️😊 アプリケーションはこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

☹️➡️😊 アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

☹️➡️😊 アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか？

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1 デスクトップ上の何もないところで、右クリックします。

2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webページで表示」をクリックします。

「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

☹️➡️😊 「インストール先のハードディスクがメモリ不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか？

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照 ➡️ ハードディスクの空き領域を増やすには→「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.213)

メモ

どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。



Windows 98に対応していないMS-DOS用、Windows 3.1用、またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用のアプリケーションの中にはインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認ください。



MS-IME98使用時にWindows 3.1用のアプリケーションを実行しようとしませんでしたか？

MS-IME98を標準でご使用の状態でWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。このような場合は次のように設定してください。



チェック!!

- ・通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。
- ・次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、もう一度、次の方法を行う必要があります。



次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windowsのフォルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にあるWIN.INIファイルのコピー(バックアップ)を取っておくことをおすすめします。

- 1 まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。
- 4 「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックして☒ オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 5** 「OK」ボタンをクリックします。
クイックビューアのセットアップが行われ、Windows 98のデスクトップの画面が表示されます。
- 6** 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 7** 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。
選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)を表示するウィンドウが開きます。
- 8** 「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 9** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
- 10** 「名前」欄に「WIN.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 11** 「検索」メニューから「検索」をクリックします。
「検索」ダイアログが開きます。
- 12** 「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタンをクリックします。
本文内の「Compatibility」が選ばれます。
- 13** 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 14** キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- 15** キーボードの【Enter】を押します。
新しい行が作成されます。
- 16** 手順8でメモした文字(ここではABC)と入力します。
- 17** 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。
手順15で作成された行に次の内容が表示されます。
ABC=0x00400000
- 18** 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「上書き保存」をクリックします。

19 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「メモ帳の終了」をクリックします。
メモ帳が終了します。

20 「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終了」をクリックします。

クイックビューアが終了します。

これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。



Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックした時表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。

クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

「メディアプレーヤー」を終了させても、音楽CDが再生されたままになる

次の手順で音楽CDを停止させてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」から「メディアプレーヤー」をクリックします。

2 「デバイス」メニューから「CDオーディオ」を選びます。

3 「停止」ボタンをクリックします。

音楽CDが停止します。

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい

Windows 95版のアプリケーションがWindows 98でもそのまま使えるかどうかはアプリケーションによって異なります。

本機にあらかじめインストールまたは添付されているアプリケーションの場合
アプリケーションの名称に「・・・for Windows 95」や「Windows 95版」などと記載されていたり、アプリケーションの画面やヘルプに「Windows 95」と記述されていても問題なく動作します。

市販されているアプリケーションの場合

Windows 98で問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの購入元にご確認ください。

MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない

MS-DOS通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」画面をフルスクリーンにして使用してください。

スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら

参照 スタンバイ状態(サスペンド)にするには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

スタンバイ状態(サスペンド)にできない。または、省電力の設定をしても自動スリープ機能が利用できない(APMモード時)

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください
電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか？

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

☹️➡️😊 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか？

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。

休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら

休止状態(ハイバネーション)は、本機がAPMモードで動作しているときに使用することができます。

参照 休止状態(ハイバネーション)にするには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

☹️➡️😊 休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」を見て設定してください。

☹️➡️😊 再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか？

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション状態)の再設定が必要です。

参照 休止状態(ハイバネーション)について→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される

☹️➡️😊 ハードディスク内の空き領域が不足していませんか？

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成される休止状態(ハイバネーション)用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してから休止状態(ハイバネーション)の設定を行ってください。

Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/ file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表示された

 **チェック!!** OSをWindows NT 4.0にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示されますが、これは、Windows NT 4.0がハイバネーションをサポートしていないためで問題ありません。

 →  増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか？

増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

 **参照** 休止状態の設定 → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

 →  休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしましたか？

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

 →  休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか？

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら

参照 スリープ状態から復帰(レジューム)するとき→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

☹️➡️😊 バッテリーの残量はありますか？

VA36D/WX、VA33D/WX、VA33D/WT、VA33D/WS、VA30H/WSの場合

BIOSセットアップメニューで「省電力管理」の「自動ハイバネーション」を「1時間後」に設定している場合、スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリー残量がなくなると、自動的に本機が起動し、メモリに保存してあるデータをハードディスクに保存して電源が切れます(自動的にハイバネーションします)。この場合は、液晶ディスプレイを開いた状態で電源スイッチを操作すればデータが元に戻ります。

VA36D/AX、VA30C/BSの場合

スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリー残量がなくなると、自動的に本機が起動し、メモリに保存してあるデータをハードディスクに保存して電源が切れます(自動的にハイバネーションします)。この場合は、液晶ディスプレイを開いた状態で電源スイッチを操作すればデータが元に戻ります。

参照 バッテリーの残量を確認するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリーで本機を使う」

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた



パソコンがWindowsの終了処理を行っている間に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・スリープ状態にした
- ・電源を切った

Windowsの終了処理中にこれらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。



その他

これ以前のところであなたの質問が見つからなかったときは、ここを見てください。

ここにも見つからないときは、「他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る」(→ p.146)以降をご覧ください。

Windows 98の機能について知りたい

「Windowsのヘルプ」の「Windows 98入門」をご覧ください。

「Windows 98入門」は、次の手順でご覧になれます。

1 「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリックします。

「Windowsのヘルプ」表示されます。

2 「目次」タブをクリックします。

「Windowsのヘルプ」のウインドウの左側に目次が表示されます。

3 目次から「Windows 98入門」をクリックします。

「Windows 98入門」の内容が表示されます。

4 本の形のアイコンを次々にクリックしていき、その中から、見たい内容をクリックします。

ウインドウの右側に内容が表示されます。

ウインドウの右側で、マウスのポインタが手の形になるところをクリックすると、詳しい内容や関連した内容を見ることができます。

参照 ヘルプについて→PART5の「ヘルプ」を利用する (p.259)

日付や時刻が正しく表示されない

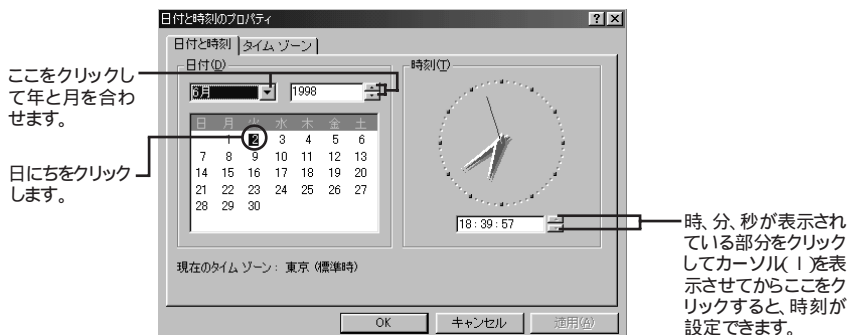
☹️➡️😊 バッテリーの電池は十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機の電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。



3 「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない

☹️➡️😊 インターネットに正しく接続されていますか？

「接続できない」→p.192 をご覧になりもう一度接続を確認してください。

☹️➡️😊 インターネットプロバイダとの契約はお済みですか？

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

参照 インターネットプロバイダに入会するには→『インターネットガイド』PART3の「BIGLOBEに入会する」



インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」をクリックすると、簡単に設定することができます。

☹️➡️😊 Windows 98ユーザー登録はお済みですか？

Windows Updateを利用するには、Windows 98ユーザー登録をしておく必要があります。

ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

メモ

Windows 98ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「いますぐ登録」をクリックしても起動することができます。

表示されている画面を印刷したい

次の方法で画面を印刷できます。

- 1 印刷したい画面で【Fn】を押したまま【Ins】を押します。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」を開きます。
- 3 「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。
「ビットマップを大きくしますか？」と画面に表示されたときは、「はい」ボタンをクリックしてください。
- 4 「ファイル」メニューの「印刷」を実行します。

2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

Windows 98起動ディスクを作成したい

Windows 98起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから起動するために使うものです。

Windows 98起動ディスクは、次の手順で作成します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブにWindows 98起動ディスク1をセットします。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
- 3 「Start computer with CD-ROM support」が選択されていることを確認して、【Enter】を押します。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- 4 【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。
- 5 フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。

6 いずれかのキー【Enter】など）を押します。

しばらくすると、「A: ¥ > _ 」と表示されます。

これで、Windows起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブからWindows 98起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してください。

動作状況が不安定になった



LANに接続して通信中にスタンバイ状態（サスペンド）や休止状態（ハイバネーション）にしませんでしたか？

LANに接続して通信中にスタンバイ状態（サスペンド）や休止状態（ハイバネーション）にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスタンバイ状態（サスペンド）や休止状態（ハイバネーション）にしないでください。

Windows 98の電源管理で自動的にスタンバイ状態（サスペンド）になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

APMモード / ACPIモードへ切り替えたい

APMモード / ACPIモードを切り替えるときには、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「ACPIモードについて」をご覧ください。モードの切り替えを行ってください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し被害を届け出てください。



参照 コンピュータウイルスについて → PART5の「コンピュータウイルス対策」（p.251）

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない

☹️➡️😊 ネットワークの設定はされていますか？

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。

ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」→「アダプタ」→「プロトコル」の設定を行ってください。

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

このPARTの内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する

コンピュータウイルス対策

アフターケアについて

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

ヘルプを利用する



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、本機をMS-DOSモードで起動することができます。

✓チェック!! プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

 **チェック!!** MS-DOSモードでは、PCカードは使用できません。

CD-ROMドライブ(内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいIMS-DOS設定を指定する場合

新しいIMS-DOS設定を指定する

新しいIMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する 「エクスプローラ」が表示されます。

- 2** C: ¥COMMAND.COMをクリックする
プログラム名が反転表示されます。

COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。表示の設定を変更するには、PART4の「ファイルの拡張子が表示されない」(→ p.179)をご覧ください。

- 3** 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする
「Commandプロパティ」が表示されます。

- 4** 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が表示されます。

- 5** 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

- 6** 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が閉じます。

- 7** 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」が閉じます。

- 8** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。

- 9** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

11 エクスプローラを起動していない場合は「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する 「エクスプローラ」が表示されます。

12 「エクスプローラ」で新しいIMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

 **チェック!!** 新しいIMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」

コンピュータウイルス対策

ここでは、コンピュータウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウイルス

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ（使用者）が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル（拡張子が .EXE や .COM ）に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ（IPL）といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的に利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるようウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

参照

➤ VirusScanの使い方 → PART1の「VirusScan」(p.47)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体（通称 IPA）がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので（平成7年7月7日付通商産業省告示第429号）、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先：情報処理振興事業協会（通称 IPA）

セキュリティセンター ウィルス対策室

本部：東京都港区芝公園3丁目1番38号 秀和芝公園3丁目ビル

電話：03-5978-7509

FAX：03-3437-5386

ホームページアドレス：<http://www.ipa.go.jp/>



アフターケアについて

■ 保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。

■ 添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

・フロッピーディスク

・CD-ROM

パソコンの型名、Product keyなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

■ 消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

■ 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「正規ユーザ(980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)



チェック!!

- ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡される場合は、980FFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)まで、ご連絡のうえ必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規ユーザ(980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ただし、「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」でご登録ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号
98OFFICIAL PASS 登録センター係行

■ 本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

■ ハードウェア

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには、マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCカード	
その他の周辺機器	

■ ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows NT(バージョン)
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

ヘルプを利用する

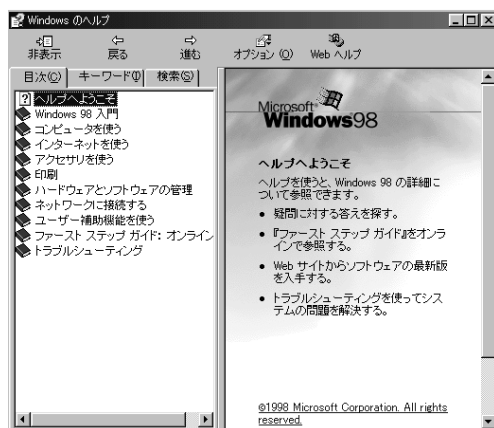
Windows 98の操作が分からないときや、トラブルが起きたときは、ヘルプを調べてみてください。ヘルプはパソコンの画面でみるマニュアルです。このマニュアルとともに、トラブル解決に利用してください。

ヘルプを表示する

1 「スタート」ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックする



「Windowsのヘルプ」ウィンドウが表示されます。



調べたい項目を探す

ヘルプで項目を探すには、次の方法があります。

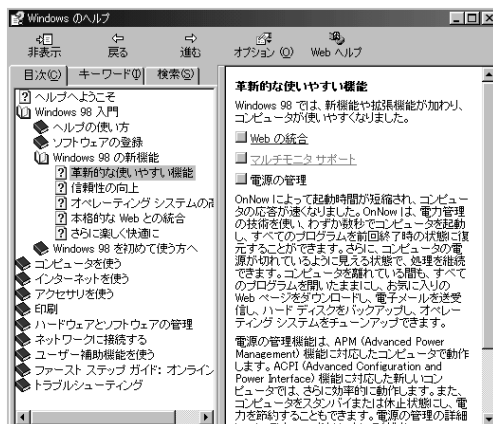
- ・ 目次で探す
- ・ キーワードで探す
- ・ 関連する語句で探す

目次で探す

- 1 「Windowsのヘルプ」ウィンドウで「目次」タブをクリックする
 (ブック) と  (トピック) の一覧が表示されます。

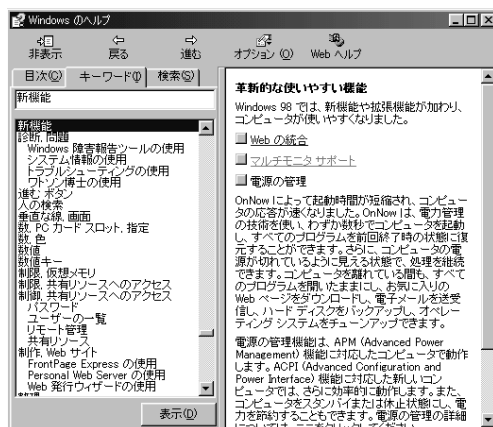
ブックは、その中にまたいくつかの項目があることを表示しています。ブックをクリックするとその中の項目が表示されます。

- 2 調べたいトピックが右側のウィンドウに表示されるまでクリックし、調べたいトピックが右側のウィンドウに表示されたら、そのトピックをクリックする
トピックの内容が右側のウィンドウに表示されます。



キーワードで探す

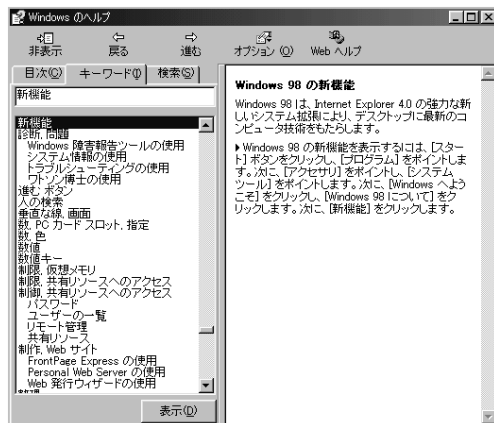
- 1 「Windowsのヘルプ」ウィンドウで「キーワード」タブをクリックする
- 2 調べたい語句を入力する
入力した語句と一致するトピックが表示されます。



- 3 内容を表示したいトピックをクリックして、「表示」ボタンをクリックする
該当するトピックを表示する画面が表示されます。



- 4 内容を表示したいトピックを選び、「表示」ボタンをクリックする
トピックの内容が右側のウィンドウに表示されます。



関連する語句(キーワード)で探す

- 1 「Windowsのヘルプ」ウィンドウで「検索」タブをクリックする
- 2 キーワードを入力して「検索開始」をクリックする
調べたい語句が含まれるトピックがすべて表示されます。
- 3 表示されたトピックの中から、内容を表示したいトピックをクリックして、「表示」をクリックする
トピックの内容が右側のウィンドウに表示されます。

Windows 98ヘルプでは、本機に添付されている『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の内容を表示することができます。はじめてWindows 98を使うときにご覧になると便利です。

トラブル解決には、「トラブルシューティング」を利用すると便利です。



索引

このPARTの内容

トラブル解決 Q&A内容一覧
総索引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたら

- セットアップの画面が表示されない 150
- セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された 151
- セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった 152
- セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された 152
- ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした) 152
- セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい 153
- セットアップ時にプロダクトキーを入力すると、「プロダクトキーが無効です」と表示され、入力できない 153

電源を入れたが

- 「Invalid system disk Replace the disk, ...」と表示された 154
- 「Non-system disk or disk error」と表示された 155
- カーソル以外、画面に何も表示されない 155
- 「Operating System not found」と表示された 155
- ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはビーツというエラー音がした 156
- ディスプレイに何も表示されない 157
- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 158
- Windows 98が起動しない 158
- 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された 159
- 「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった 160
- パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される 160
- パスワードを忘れてしまった 161
- スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない 162
- Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/ file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表示された 162

バッテリーを使っていたら

- ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない 164
- タスクバーに電源アイコン  または  が表示されない 164
- フル充電したのに、バッテリー充電ランプ  が点灯する 164
- バッテリー充電ランプが点滅する 164

電源を切ろうとしたが

- 電源を切れない。強制的に電源を切りたい 166

画面がおかしい

- 「スタート」ボタンがない、タスクバーがない 168

- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 169
- タスクバーが2列になってしまう 169
- デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい 169
- MS-DOS プロンプト画面がフルスクリーンになってしまった 169
- MS-DOS モードを終了してWindows 98に戻りたい 169
- MS-DOS プロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバが起動した 170
- ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない 170
- マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い 171
- 使っていたウィンドウがなくなった。他のウィンドウの後ろに隠れてしまった 171
- コントロールパネルのアイコンがおかしい 172
- 最小化したヘルプが元に戻ってしまう 172

別売のディスプレイを使っていたら

- ディスプレイの省電力機能を設定できない 173
- 「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される 174
- 表示できるはずの高解像度を選べない 175

ファイル、フォルダがおかしい

- ファイルが見つからない 178
- 必要なファイルを消してしまった 178
- 長いファイル名をつけられない。表示できない 179
- ファイルの拡張子が表示されない 179
- Windowsフォルダをクリックしても、フォルダの内容が表示できない 180
- 文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた 180

音がおかしい

- 音が出ない、音が大きすぎる 181
- スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす) 182
- ダイヤラの使用時に音が出ない(FAXモデム内蔵モデル) 183

NXパッドを操作しても

- NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い 184
- ダブルクリックしにくい 185

文字を入力しようとしたら

- キーボードのキーを押しても、何も反応しない 186
- 別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある 186
- キーボードで押したキーと違う文字が表示される 187
- ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない 188
- 記号などで入力できない文字がある 188
- MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(¥)が入力できない 189

ファイルを保存しようとしたら

- ハードディスクに保存できない 190
- フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない 190
- ファイル名の後ろに、入力していない文字「.txt」「.bmp」などが付く 190
- 長いファイル名をつけられない。表示できない 191

インターネット/パソコン通信しようとしたら

- 接続できない 192
- 「モデムが応答しません」と表示される 194
- 文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する 194
- ファイルを添付したメールをうまく送れない 196
- 「発信音が聞こえません。」と表示された 196
- 「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された 197
- 「回線はビジーです。」と表示された 197
- 「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示された 198
- 「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された 198
- ダイアラでダイヤルできない 199
- モデムで電話できるか確認したい 199
- 「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される 200
- Internet Explorer や関連製品に関するサポート技術情報について知りたい 200
- 自動発着機能が作動しない 201

FAXを使おうとしたら

- FAXを自動受信できない 202
- 電話をFAXとして受信してしまう 202
- 内蔵FAXモデムを4線式の回線につなぎたい 202

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

- ネットワークへの接続方法が分からない 203
- ネットワークに接続できない 203
- 共有ドライブやフォルダが使えない 204

赤外線通信しようとしたら

- 赤外線通信できない 205
- Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された 205

印刷しようとしたら

- プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される 206
- 印刷しようとしたら「FAX送信」「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された 208

フロッピーディスク、スーパーディスクを使っていたら

- 「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない 209
- 読み込みはできるが、書き込みができない 210
- 2DDのフロッピーディスクに書き込みができない 211
- ディスクに飲み物をこぼしてしまった 211
- ディスクを誤ってフォーマットしてしまった 211
- ディスクコピーやフォーマットができない 212
- スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない 212

ハードディスクを使っていたら

- ハードディスクの空き領域が足りない 213
- ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない 215
- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない 215
- スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう 215
- スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される 215
- 2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい 216
- ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない 216
- 「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない 216
- FAT32を利用したい 216

CD-ROMを使っていたら

- CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない 217
- CD-ROMをセットしても自動起動しない 217
- CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする 218
- 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない 219
- 動画の再生中に画面が消えてしまう 220
- CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい 220
- MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい 221
- CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら 221

周辺機器を取り付けようとしたら

- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった 222

- プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない 225
- Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい .. 225
- Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい 226
- 「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された 226

アプリケーションを使っていたら

- アプリケーションが起動しない 227
- アプリケーションを削除したい 227
- フルカラ - にするようにというメッセージが表示された 227
- アプリケーションをインストールできない 228
- 「メディアプレーヤー」を終了させても、音楽CDが再生されたままになる 231
- リセットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい 231
- Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい 232
- MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない 232

スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら

- スタンバイ状態(サスペンド)にできない。または、省電力の設定をしても自動スリープ機能が利用できない(APMモード時) 233
- 自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない 233

休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら

- 休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう 234
- ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される 234
- Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/ file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表示された 235

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら

- スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない 236
- スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた 237

その他

- Windows 98の機能について知りたい 238
- 日付や時刻が正しく表示されない 238
- Windows Updateができない 239
- 表示されている画面を印刷したい 240
- 2000年問題について知りたい 240
- Windows 98起動ディスクを作成したい 241

● Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい	241
● 動作状況が不安定になった	242
● APMモード / ACPIモードへ切り替えたい	242
● コンピュータウィルスが検出された	242
● 「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない	243

総索引

英字

2000年問題	240
Acrobat Reader 3.0J	35
CyberAccess	38
CyberWarner-NX	43
DMIT00L	53
Draw 98	12, 102
Excel 97	12, 98
FAT32	112
Intellisync	23
Masty Data Backup	62
MS-DOSプロンプト	189, 246
MS-DOSモード	246
NEC Soft MPEG1.0	29
NXパッド	130, 184
Outlook 98	12, 103
pcANYWHERE32 EX	57
READMEファイル	146
RSA SecurPC	59
Safe mode	159, 223
Sasuke	8, 107
Shuriken	8, 107
VirusScan	47
Windows NT 4.0	116
Word 98	12, 100

あ行

アドバンスモード	38
アフターケア	254
アプリケーション	2, 227
一太郎9	8, 105
インターネットエクスプローラ	18
印刷	206
英語モードフォント	51
エキスパートモード	38

か行

解像度	175
-----	-----

拡張子	179, 191
カスタム再セットアップ	76, 78, 80
キーボード	186
休止状態	234
強制的に電源を切る方法	167
コントロールパネル	148
コンピュータウィルス	47, 251

さ行

再セットアップ	66
サスペンド	233
三四郎9	8, 107
周辺機器	222
スタンバイ状態	233
スーパーディスク	119, 139
スーパバイザパスワード	161
スキャンディスク	215
スリープ	236
赤外線通信	23, 205

た行

デバイスマネージャ	222
トラブルチェックシート	257

な行

日本語入力	188
ネットワーク	203

は行

ハードディスク	213
ハイパネーション	234
パスワード	160, 161
バッテリー	164
花子9	8, 107
標準再セットアップ	72
ファイル	178
フォルダ	178
フリーズ(ハングアップ)	144
プリンタ	206

フロッピーディスク	209
プレーヤ-NX	32
ベーシックモード	38

ま行

文字コード	188
モデム	131, 194
モバイルメール	20

や行

ユーザパスワード	161
ユーザ情報	153

ら行

レジューム	236
-------------	-----



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 98 インストール)

初版 1999年5月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙
(古紙率：表紙50%、本文100%)を使用しています。

808-875488-313-A